

2023年度

大学教育の達成度調査報告書

2024年9月

教育運営委員会 学部・大学院教育部会

大学教育の達成度調査WG

目次

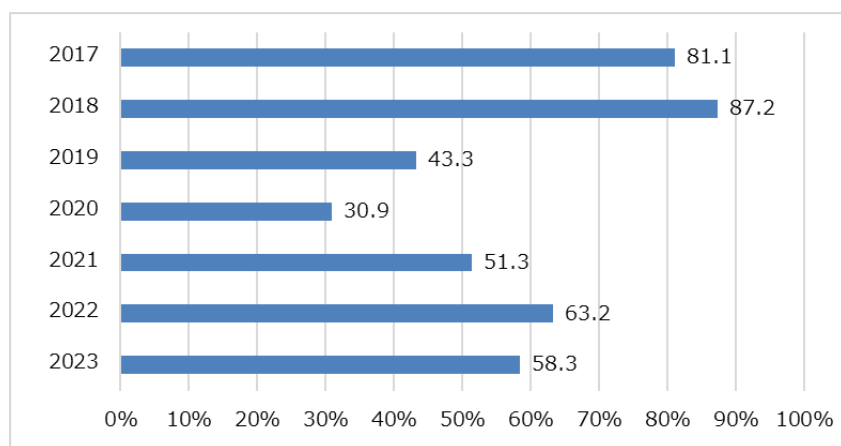
調査実施方法	2 ページ
I. 回答者の特性	3 ページ
II. 在学時の経験	
II-1. 入学時の様子	5 ページ
II-2. 大学時代を通じての経験	6 ページ
II-3. 大学が提供する各種プログラム等	7 ページ
II-4. 在学時の学修機会・経験	9 ページ
II-5. 成績	11 ページ
III. 在学時の学修	
III-1. 身につけた点	12 ページ
III-2. 教員や教育制度、受講した授業	13 ページ
III-3. オンライン授業	15 ページ
III-4. オンライン授業への取り組み	16 ページ
III-5. オンライン授業と対面形式の授業	17 ページ
IV. 在学時の海外経験等	
IV-1. 海外経験	18 ページ
IV-2. 外国語テスト	20 ページ
V. 前期と後期の接続	
V-1. 進学選択・進学先	21 ページ
VI. 大学生活を通じた満足度	
VI-1. 満足度	22 ページ
VI-2. 大学のカリキュラム	24 ページ
VII. 卒業後の進路	
VII-1. 卒業後の予定	25 ページ
(参考) 経年変化	26 ページ
自由記述	33 ページ
大学教育の達成度調査（2008 年度-2023 年度）回答率	36 ページ

調査実施方法

- 調査形式 : Web
- アンケート回答期間 : 2024 年 2 月 22 日(木)～3 月 31 日(日)
- 2024 年 3 月卒業者数 : 2,965 名
- 回答者数 : 1,730 名
- 回答率 : 58.3% (回答者数/3 月卒業者数)

※グラフの個々の数字は、小数点以下を四捨五入しているため、数字を合計して 100%とならない場合がある。

過去7年間の回答率



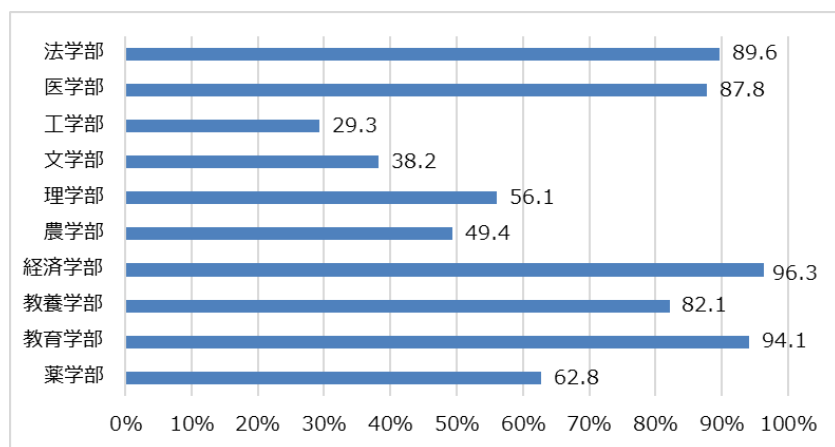
過去7年間の回答率について、2017年度・2018年度は回答率が8～9割程度あった。2019年度は43.3%、2020年度は30.9%と低下したが、2021年度は51.3%、2022年度は63.2%、2023年度は58.3%と5～6割程度まで回復している。

経年変化をみる際は留意が必要である。

<回答率変動の背景>

2019年度の調査以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、調査票の回収方法や調査形式の変更を行った。2018年度までは、学部(各学科)において卒業式当日の書類配付時等に調査票を配付し回収していたが、2019年度は前出の感染症対策のため、調査票の回収方法として直接回収のほか、返信用封筒を用いる回収も選択できるようにした。2020年度は調査形式をWebと紙媒体の併用(Webを推奨)とし、2021年度以降はWebのみとしている。

学部別回答率



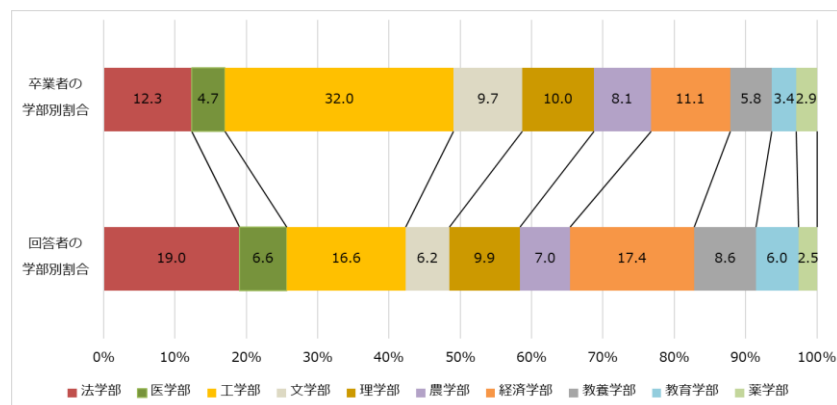
学部別回答率について、経済学部が96.3%と最も高い割合となっている。次いで教育学部が94.1%、法学部が89.6%、医学部が87.8%、教養学部が82.1%となっている。

I. 回答者の特性

2023年度調査より、データクリーニング（明らかに不適切な回答をしていると思われる回答データの削除）を行った。データクリーニングの結果、全回答者1,730名のうち86.2%にあたる1,491名の回答を有効回答であると判断した。

以降はこの有効回答データをもとに結果を報告する。またこれ以降、本報告書で使用する「回答者」は、2023年度に関してはデータクリーニング後の有効回答者とする。

後期課程 所属学部

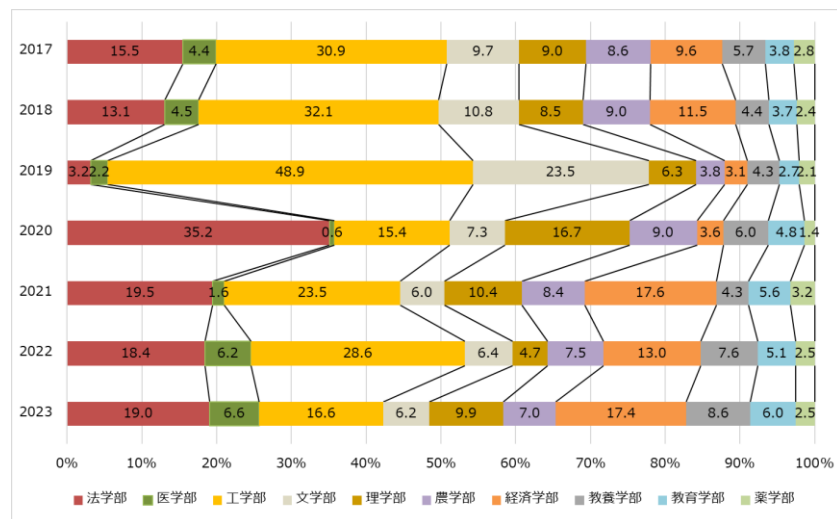


卒業生の学部別割合は、3月の各学部卒業生数/全卒業生数で計算した。

回答者の学部別割合は、各学部の有効回答数/全有効回答数で計算した。

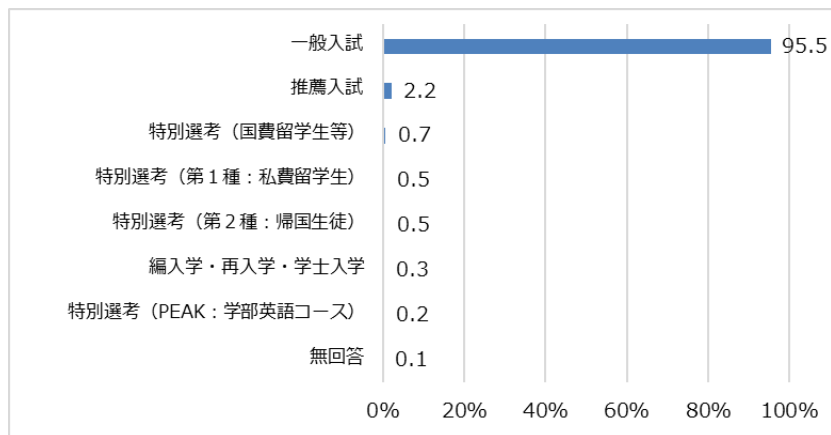
卒業生の学部別割合と回答者の学部別割合に差がある学部もあるため、全体の傾向をみる際は留意が必要である。

過去7年間の回答者の学部別割合



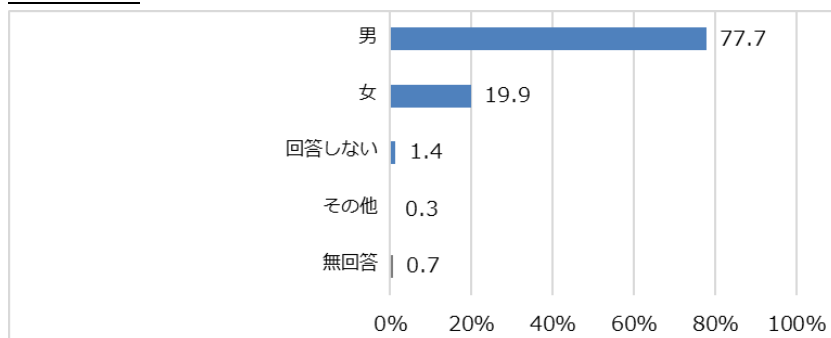
過去7年間の回答者の学部別割合について、2018年度までは卒業生の学部別割合に近かった。2019年度は工学部と文学部の割合が増加し、2020年度は法学部の割合が増加、工学部の割合が減少した。2021年度及び2022年度は卒業生の学部別割合に近づいたが、2023年度は工学部の割合が再び減少した。経年変化をみる際は留意が必要である。

I-2. 入学試験



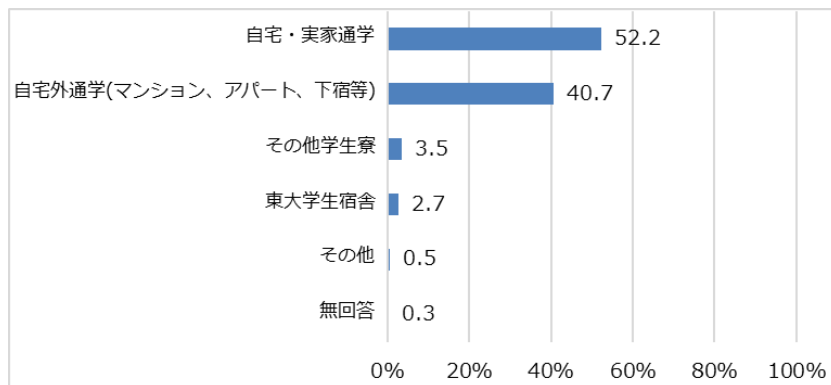
回答者のうち、一般入試が95.5%と最も高い割合となっている。次いで推薦入試が2.2%、特別選考(国費留学生等)が0.7%、特別選考(第1種: 私費留学生)が0.5%、特別選考(第2種: 帰国生徒)が0.5%、編入・再入学・学士入学が0.3%、特別選考(PEAK:学部英語コース)が0.2%となっている。

I-8. 性別



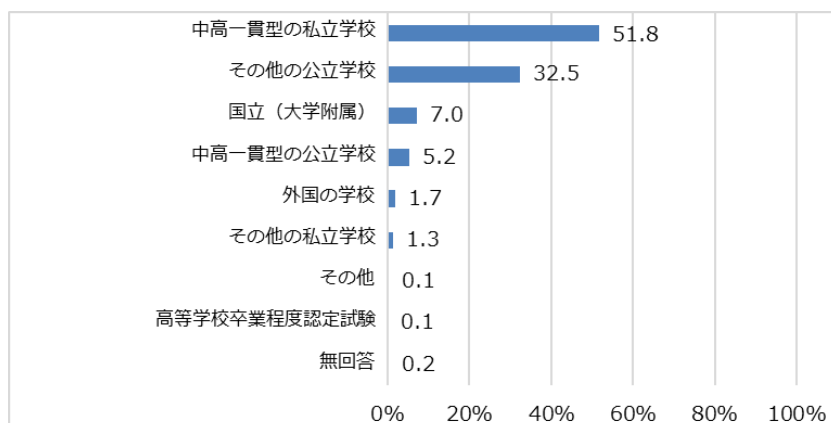
回答者のうち、男性が77.7%、女性が19.9%、回答しないが1.4%となっている。

I-9. 通学・住居



回答者のうち、自宅・実家通学が52.2%、自宅外通学(マンション、アパート、下宿等)が40.7%、その他学生寮が3.5%、東大学生宿舎が2.7%となっている。

I-10. 出身高校等



回答者のうち、中高一貫型の私立学校が51.8%、その他の公立学校が32.5%、国立(大学附属)が7.0%、中高一貫型の公立学校が5.2%となっている。また、外国の学校は1.7%、その他の私立学校は1.3%となっている。

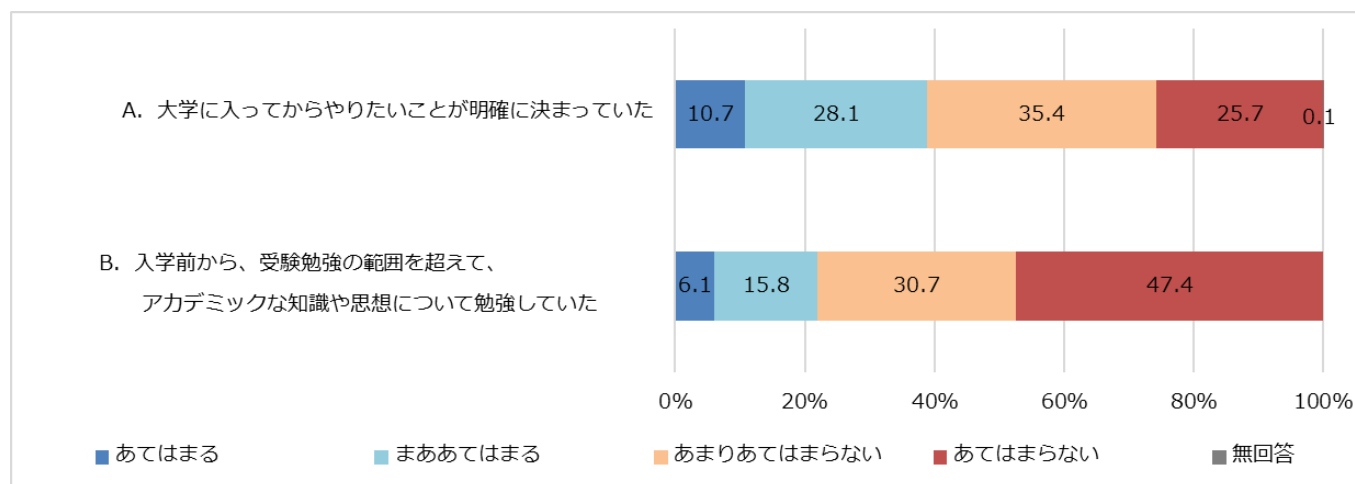
Ⅱ. 在学時の経験

Ⅱ-1. 入学時の様子

「あてはまる」「まああてはまる」:

- ・「大学に入ってからやりたいことが明確に決まっていた」は38.8%
- ・「入学前から、受験勉強の範囲を超えて、アカデミックな知識や思想について勉強していた」は21.9%

Ⅱ-1. 入学時の様子について伺います。つぎのことは、どの程度あてはまりますか。



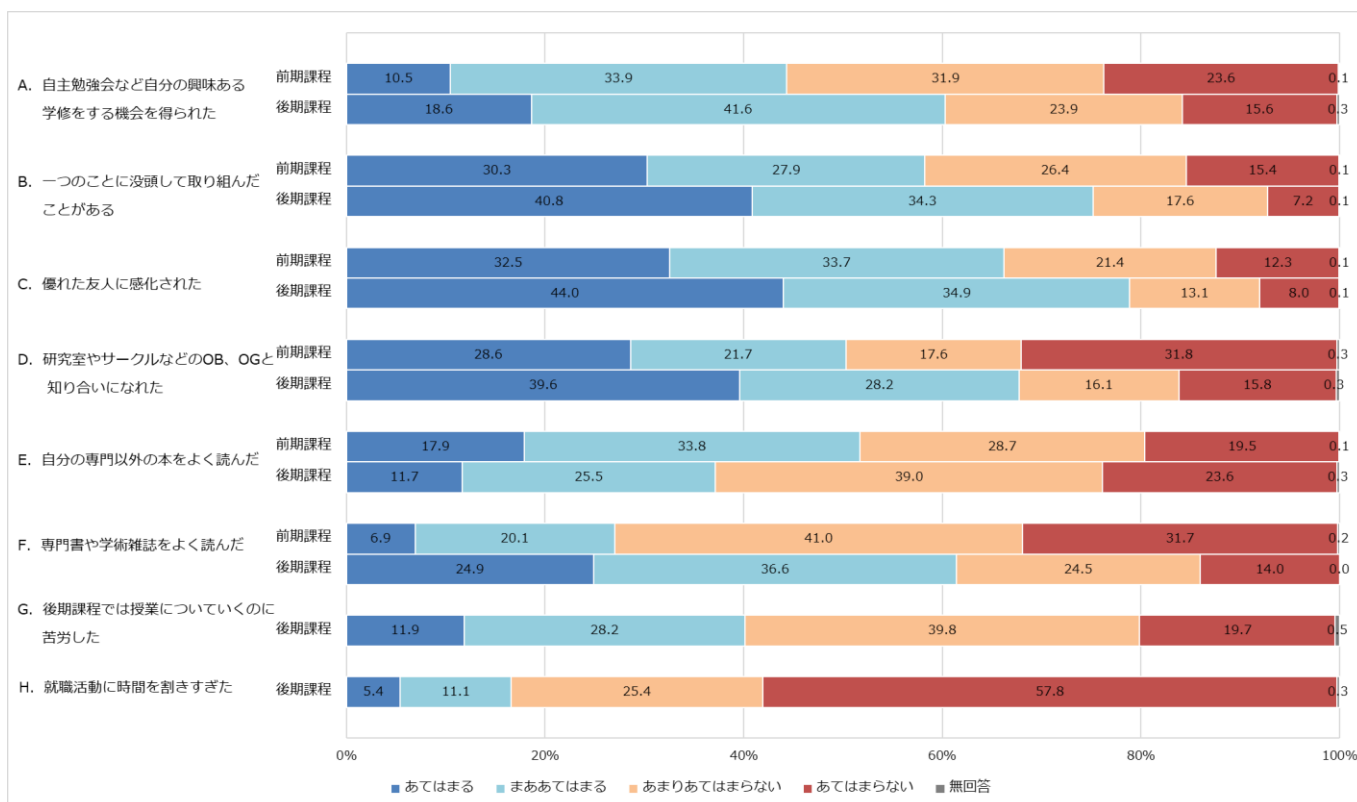
入学時の様子について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計は、「A. 大学に入ってからやりたいことが明確に決まっていた」が38.8%、「B. 入学前から、受験勉強の範囲を超えて、アカデミックな知識や思想について勉強していた」が21.9%となっている。

Ⅱ-2. 大学時代を通じての経験

「あてはまる」「まああてはまる」:

- ・「自分の専門以外の本をよく読んだ」以外は全て前期課程より後期課程の方が高い割合
- ・「専門書や学術雑誌をよく読んだ」は後期課程の方が34.4%高い

Ⅱ-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。



大学時代を通じての経験について、各項目の「あてはまる」と「まああてはまる」の割合の合計を前期課程と後期課程の間で比較すると、「E. 自分の専門以外の本をよく読んだ」以外は全て前期課程より後期課程の割合が高くなっている。また、これらの項目の前期課程と後期課程の間での「あてはまる」と「まああてはまる」の割合の差はいずれも10%を超えており、特に「F. 専門書や学術雑誌をよく読んだ」については34.4%の差がある。

前期課程における経験について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が最も高い項目は、「C. 優れた友人に感化された」(66.2%)である。次いで「B. 一つのことに没頭して取り組んだことがある」(58.2%)、「E. 自分の専門以外の本をよく読んだ」(51.7%)の順となっている。

後期課程における経験についても、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が最も高い項目は、「C. 優れた友人に感化された」(78.9%)である。次いで「B. 一つのことに没頭して取り組んだことがある」(75.2%)、「D. 研究室やサークルなどのOB、OGと知り合いになれた」(67.7%)の順となっている。

Ⅱ-3. 大学が提供する各種プログラム等

「履修または参加した」:

- ・「後期教養教育科目」が22.3%と最も高い

「知らない」:

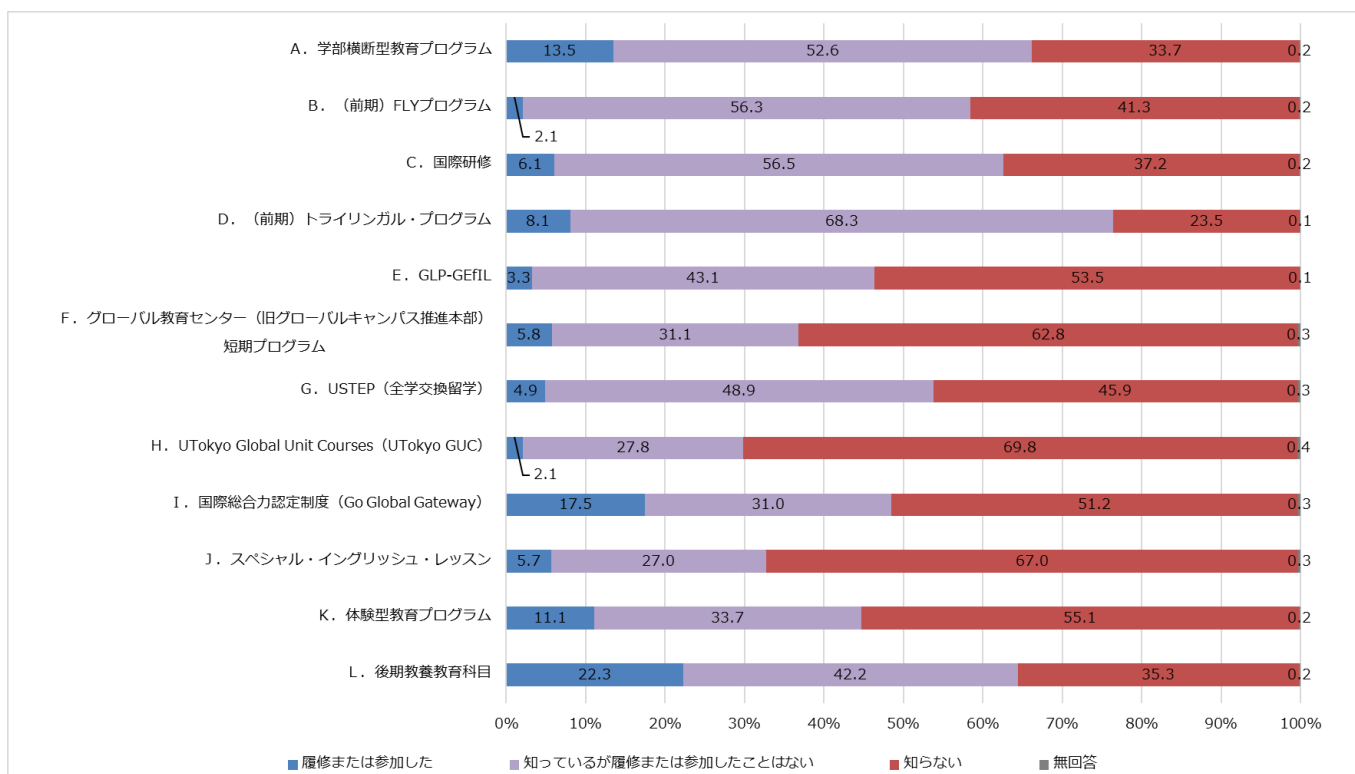
- ・12のうち6つのプログラムは50%を上回った

「非常に有用だった」「有用だった」:

- ・12のうち8つのプログラムは50%を上回った
- ・「後期教養教育科目」が80.4%と最も高い

Ⅱ-3. 大学が提供するプログラム等の履修または参加について伺います。

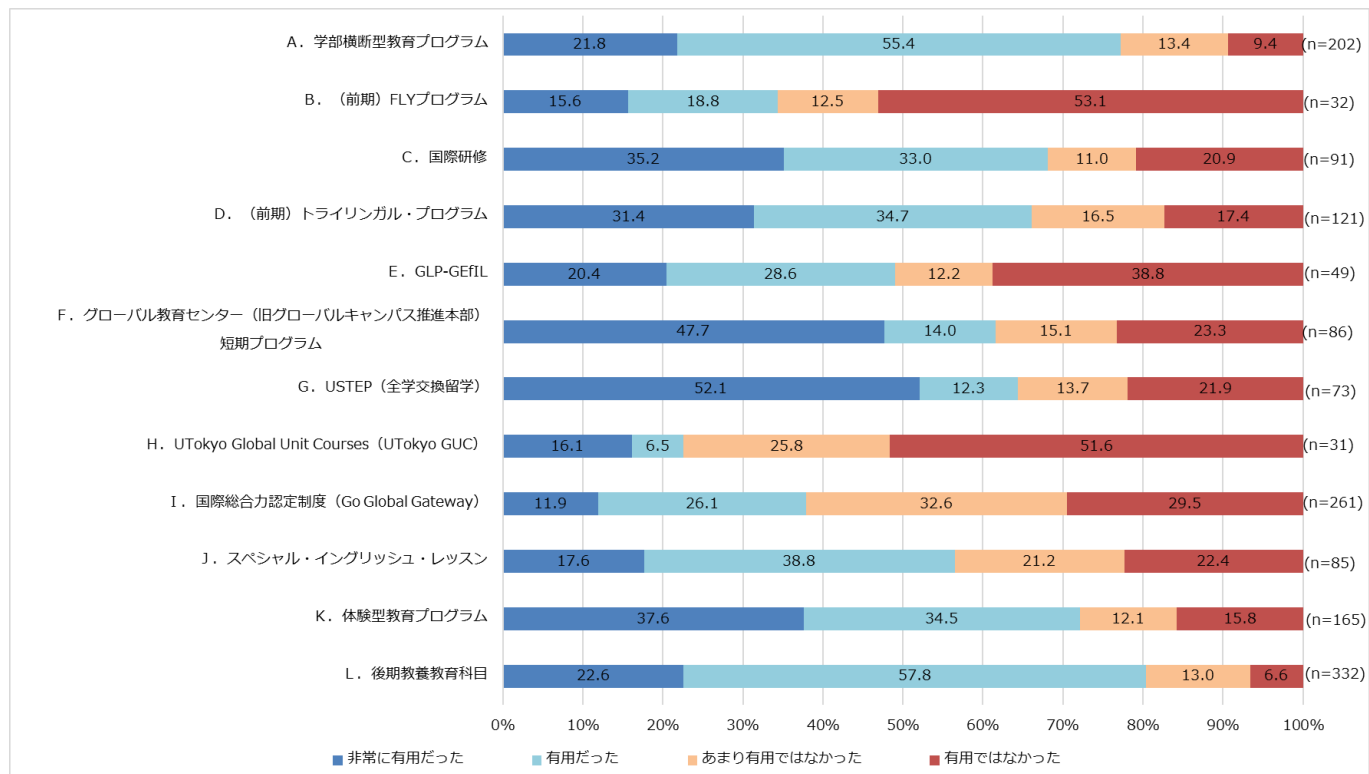
●履修または参加の有無



大学が提供する各種プログラム等について、「履修または参加した」の割合が最も高い項目は、「L. 後期教養教育科目」(22.3%)である。次いで「I. 国際総合力認定制度 (Go Global Gateway)」(17.5%)、「A. 学部横断型教育プログラム」(13.5%)の順となっている。

一方で、12のうち6つのプログラムは「知らない」の割合が50%を上回った。

●各プログラム等参加者の評価



n は「履修または参加した」と回答した学生の合計数

12のうち8つのプログラムは「非常に有用だった」と「有用だった」の割合の合計が50%を上回った。最も高い割合となったプログラムは、「L. 後期教養教育科目」(80.4%)である。次いで「A. 学部横断型教育プログラム」(77.2%)、「K. 体験型教育プログラム」(72.1%)の順となっている。

Ⅱ-4. 在学時の学修機会・経験

他の項目に比べ、経験者が多い：

- ・「研究室やゼミでの少人数教育を経験した」は89.1%

他の項目に比べ、経験者が少ない：

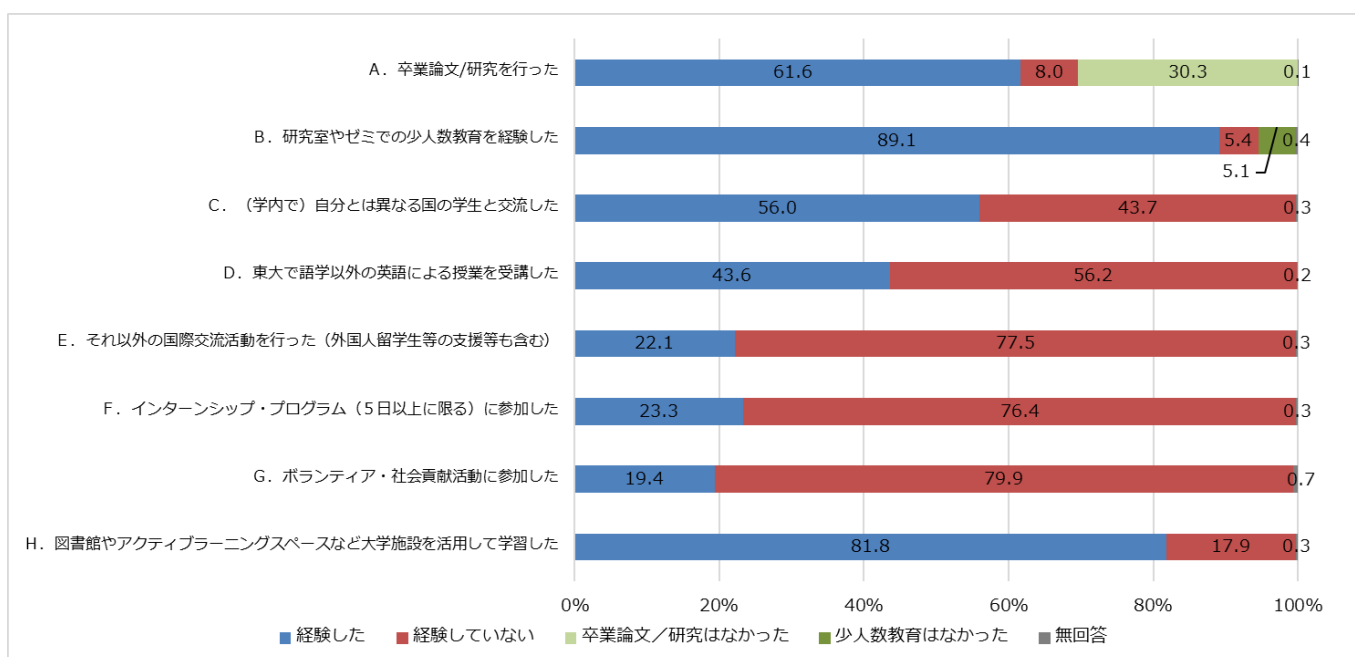
- ・「ボランティア・社会貢献活動に参加した」は19.4%
- ・「それ以外(※)の国際交流活動を行った（外国人留学生等の支援等も含む）」は22.1%
※学内における自分と異なる国の学生との交流や、東大での語学以外の英語による授業の受講以外
- ・「インターンシップ・プログラム（5日以上に限る）に参加した」は23.3%

他の項目に比べ、評価が低い：

- ・「東大で語学以外の英語による授業を受講した」は67.1%

Ⅱ-4. 在学時の学修機会・経験について伺います。

●機会・経験の有無

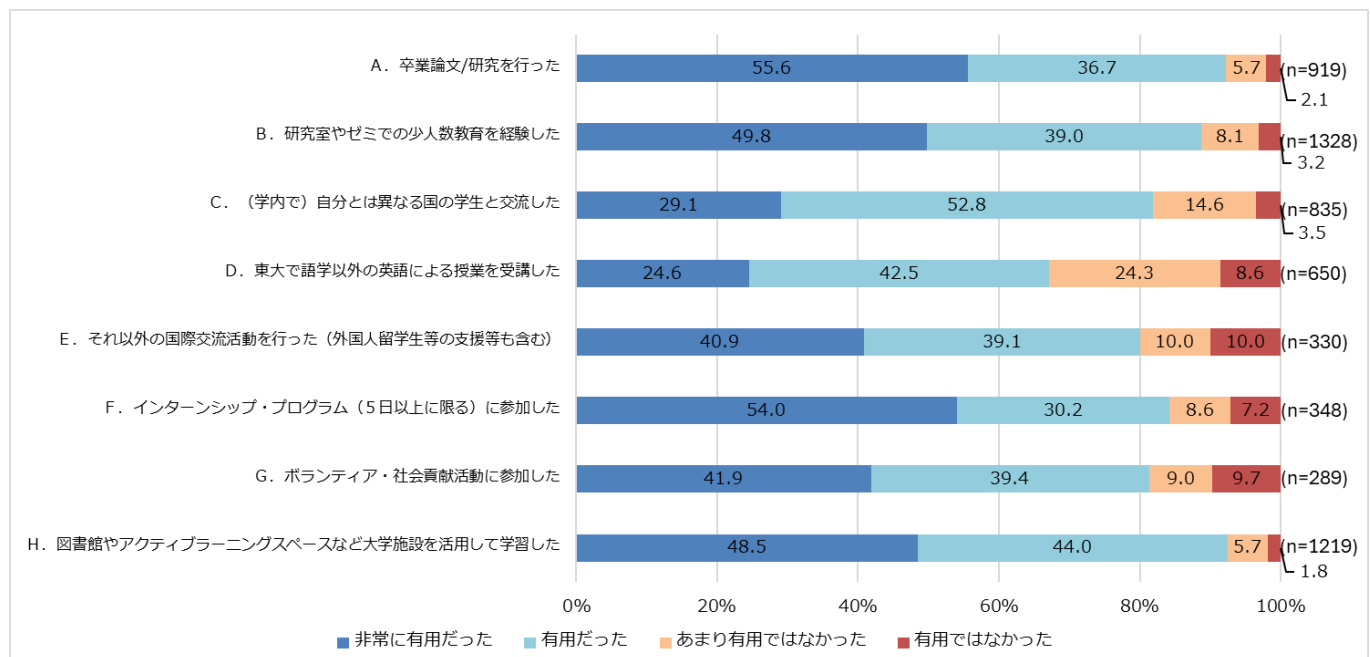


在学時の学修機会・経験について、「経験した」の割合が最も高い項目は、「B. 研究室やゼミでの少人数教育を経験した」(89.1%)である。

一方で、「G. ボランティア・社会貢献活動に参加した」は19.4%、「E. それ以外(※)の国際交流活動を行った(外国人留学生等の支援等も含む)」(※学内における自分と異なる国の学生との交流や、東大での語学以外の英語による授業の受講以外)は22.1%、「F. インターンシップ・プログラム(5日以上に限る)に参加した」は23.3%となっている。

Eの国際交流活動には外国人留学生のチューターも含まれるが、本学では大学院学生がチューターを務めることが多く、学部学生がチューターを務める機会は限られている。

●各項目経験者の評価



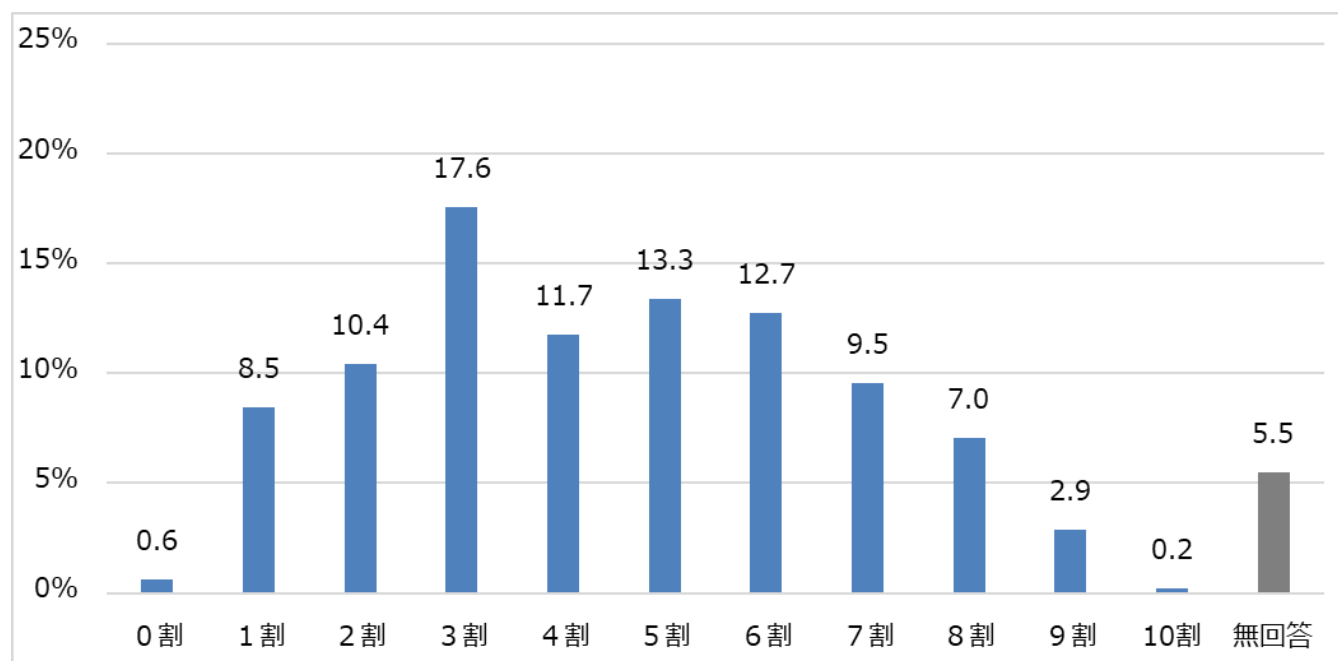
n は「経験した」と回答した学生の合計数

全ての項目について「非常に有用だった」と「有用だった」の合計が 60%を上回った。しかし、「D. 東大で語学以外の英語による授業を受講した」は 67.1%と他項目より割合がやや低くなっている。

Ⅱ-5. 成績

・「優(優上を含む)の割合」は3割が最も多く、次いで5割と6割

Ⅱ-5. あなたの成績について伺います。「優」(A)は何割くらいありましたか。「優上」を含めた割合を記入してください。



成績について、優(優上を含む)の割合は、「3割」が17.6%と最も多く、次いで「5割」が13.3%、「6割」が12.7%となっている。

Ⅲ. 在学時の学修

Ⅲ-1. 身につけた点

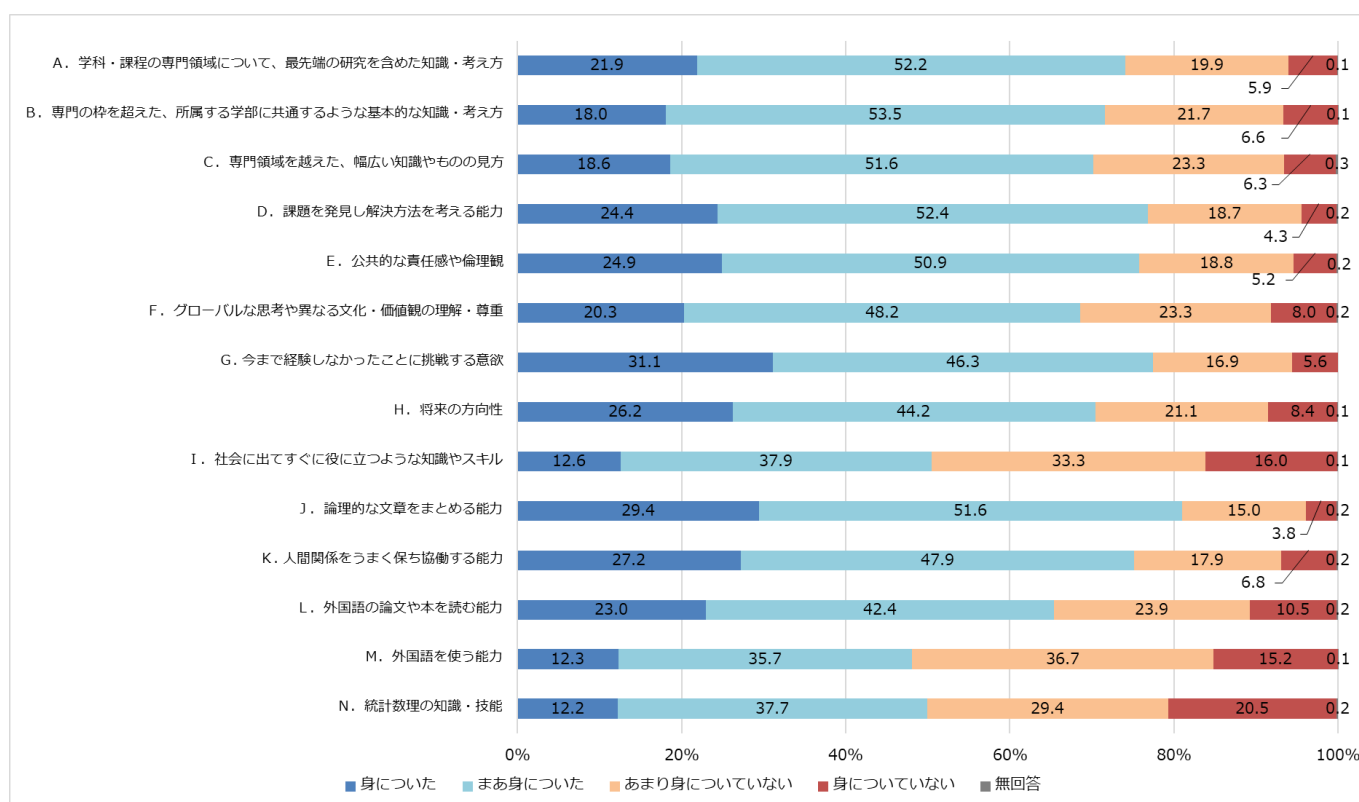
他の項目に比べ、「身についた」「まあ身についた」の割合が高い：

- ・「論理的な文章をまとめる能力」は81.0%
- ・「今まで経験しなかったことに挑戦する意欲」は77.5%
- ・「課題を発見し解決方法を考える能力」は76.8%

他の項目に比べ、「身についた」「まあ身についた」の割合が低い：

- ・「外国語を使う能力」は48.1%
- ・「統計数理の知識・技能」は49.9%
- ・「社会に出てすぐに役に立つような知識やスキル」は50.5%

Ⅲ-1. あなたは、つぎのような点を身につけたと思いますか。



在学時の学修で身につけた点について、「身についた」と「まあ身についた」の合計が最も高い項目は、「J. 論理的な文章をまとめる能力」(81.0%)である。次いで「G. 今まで経験しなかったことに挑戦する意欲」(77.5%)、「D. 課題を発見し解決方法を考える能力」(76.8%)の順となっている。

一方で、「身についた」と「まあ身についた」の合計が最も低い項目は、「M. 外国語を使う能力」(48.1%)である。次いで「N. 統計数理の知識・技能」(49.9%)、「I. 社会に出てすぐに役に立つような知識やスキル」(50.5%)の順となっている。

Ⅲ-2. 教員や教育制度、受講した授業

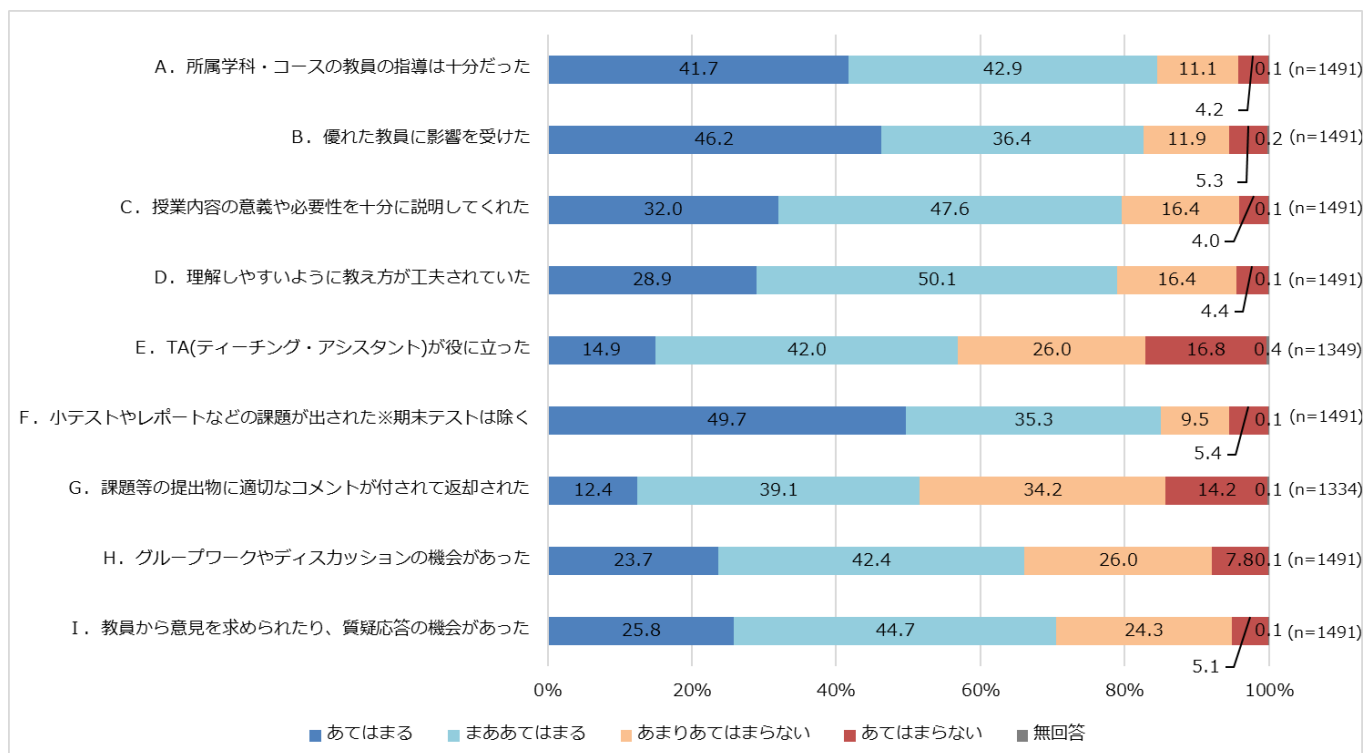
他の項目に比べ、「あてはまる」「まああてはまる」の割合が高い：

- ・「小テストやレポートなどの課題が出された※期末テストは除く」は85.0%
- ・「所属学科・コースの教員の指導は十分だった」は84.6%
- ・「優れた教員に影響を受けた」は82.6%

他の項目に比べ、「あてはまる」「まああてはまる」の割合が低い：

- ・「課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された」は51.5%
- ・「TA(ティーチング・アシスタント)が役に立った」は56.9%
- ・「グループワークやディスカッションの機会があった」は66.1%

Ⅲ-2. 教員や教育制度との関係、受講した授業について伺います。



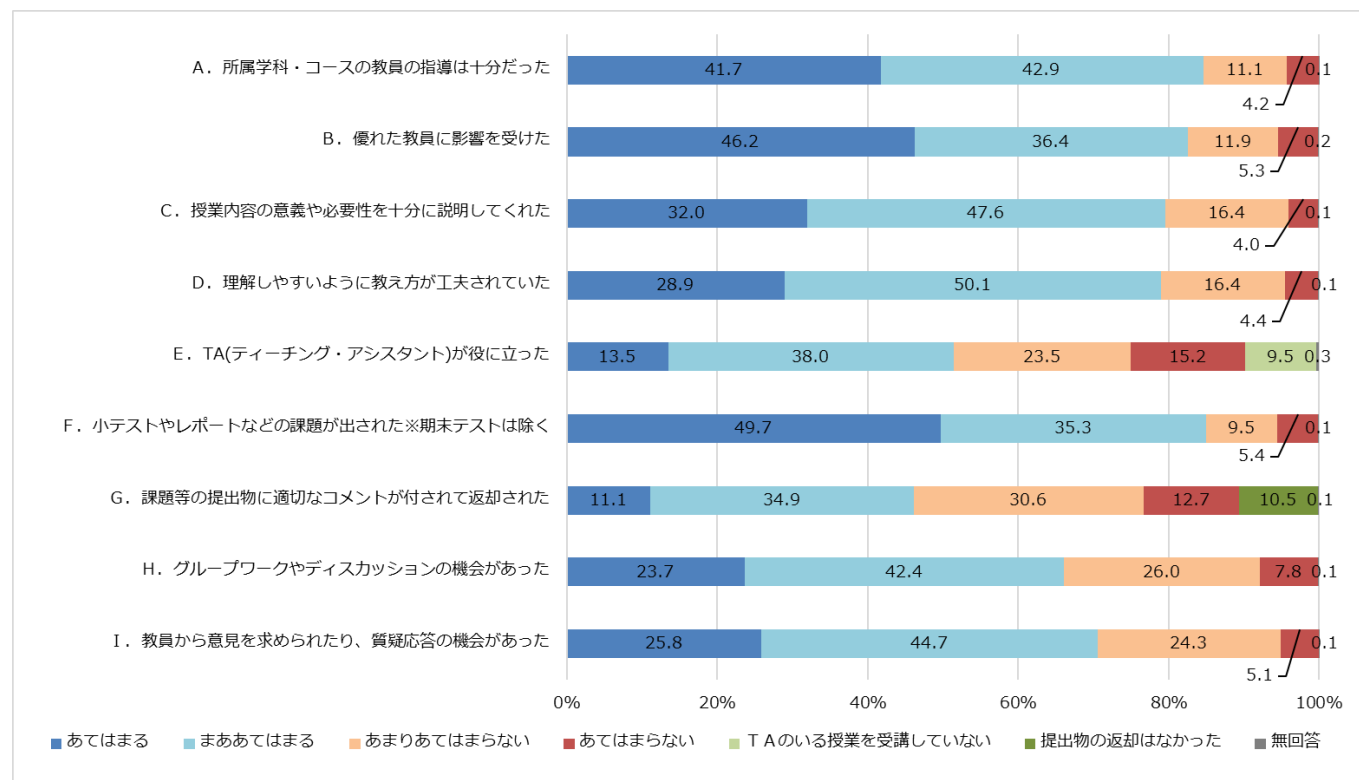
n は「未経験」と回答した学生を除いた回答者数

教員や教育制度、受講した授業について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が最も高い項目は、「F. 小テストやレポートなどの課題が出された※期末テストは除く」(85.0%)である。次いで「A. 所属学科・コースの教員の指導は十分だった」(84.6%)、「B. 優れた教員に影響を受けた」(82.6%)となっている。

一方で、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が最も低い項目は、「G. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された」(51.5%)である。次いで「E. TA(ティーチング・アシスタント)が役に立った」(56.9%)、「H. グループワークやディスカッションの機会があった」(66.1%)となっている。

●参考

「E.TA(ティーチング・アシスタント)が役に立った」「G. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された」において、未経験（それぞれ「TA のいる授業を受講していない」「提出物の返却はなかった」）と回答した学生を除く前のグラフ



Ⅲ-3. オンライン授業

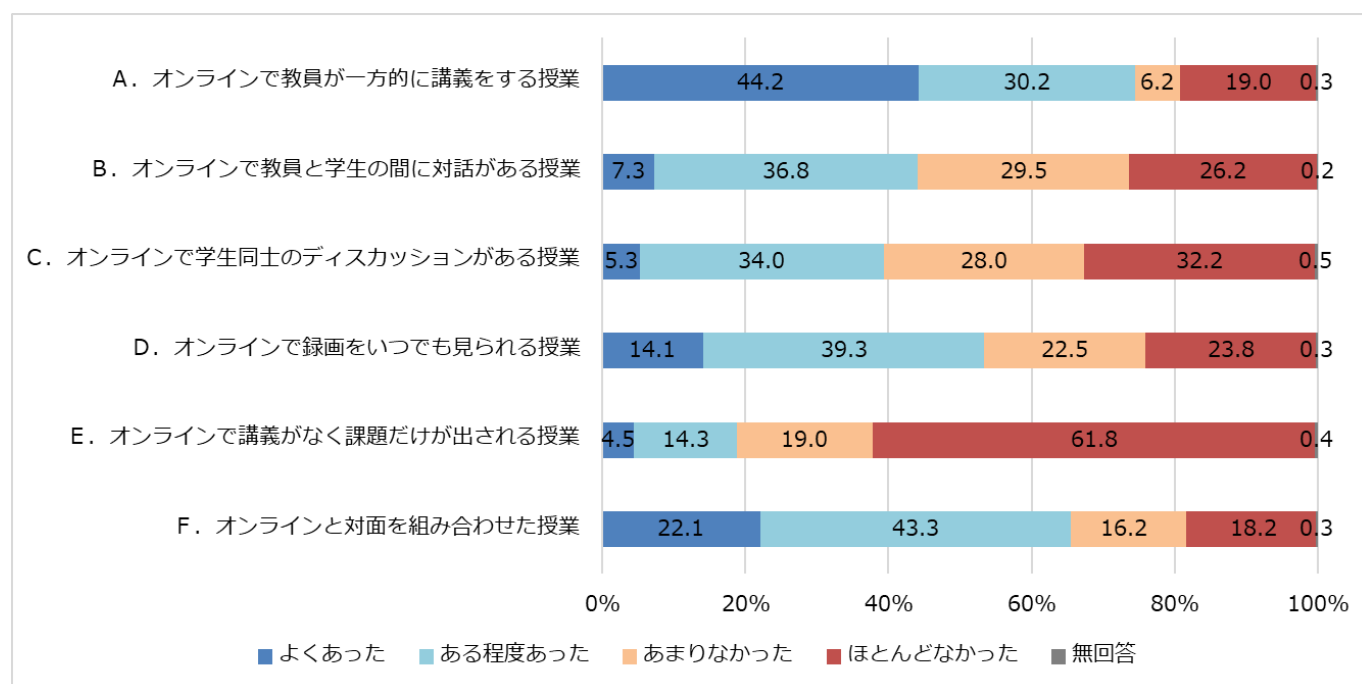
他の項目に比べ、「よくあった」「ある程度あった」の割合が高い：

- ・「オンラインで教員が一方的に講義をする授業」は74.4%
- ・「オンラインと対面を組み合わせた授業」は65.4%

他の項目に比べ、「よくあった」「ある程度あった」の割合が低い：

- ・「オンラインで講義がなく課題だけが出される授業」は18.8%

Ⅲ-3. あなたが今年度で大学で受けたオンライン授業の中で、つぎのような授業はおおよそどれくらいありましたか。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。



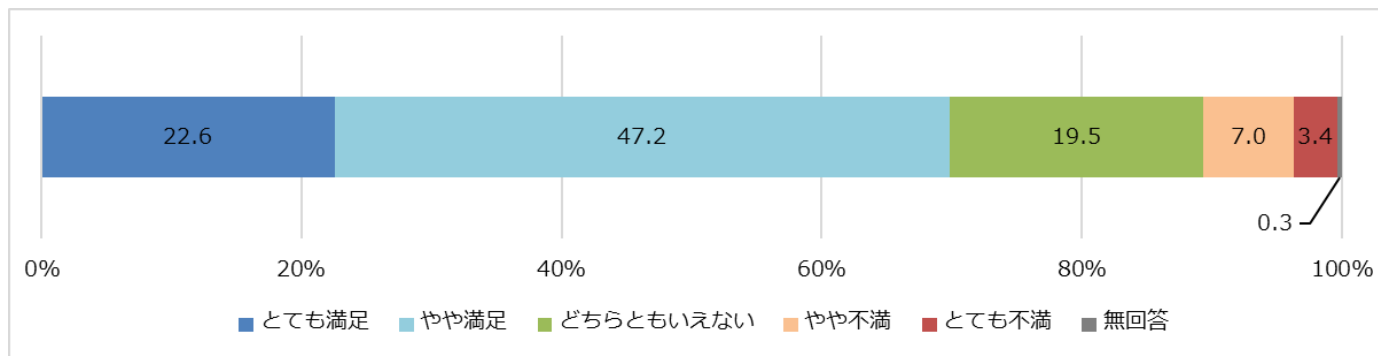
オンライン授業について、「よくあった」と「ある程度あった」の合計が最も高い項目は、「A. オンラインで教員が一方的に講義をする授業」(74.4%)である。次いで「F. オンラインと対面を組み合わせた授業」(65.4%)となっている。

一方で、「E. オンラインで講義がなく課題だけが出される授業」は18.8%と最も低くなっている。

Ⅲ-4. オンライン授業への取り組み

- ・「満足」：69.8%
- ・「どちらともいえない」：19.5%
- ・「不満」：10.3%

Ⅲ-4. 東京大学でのオンライン授業への取り組みに対して、あなたはどのように感じていますか。あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

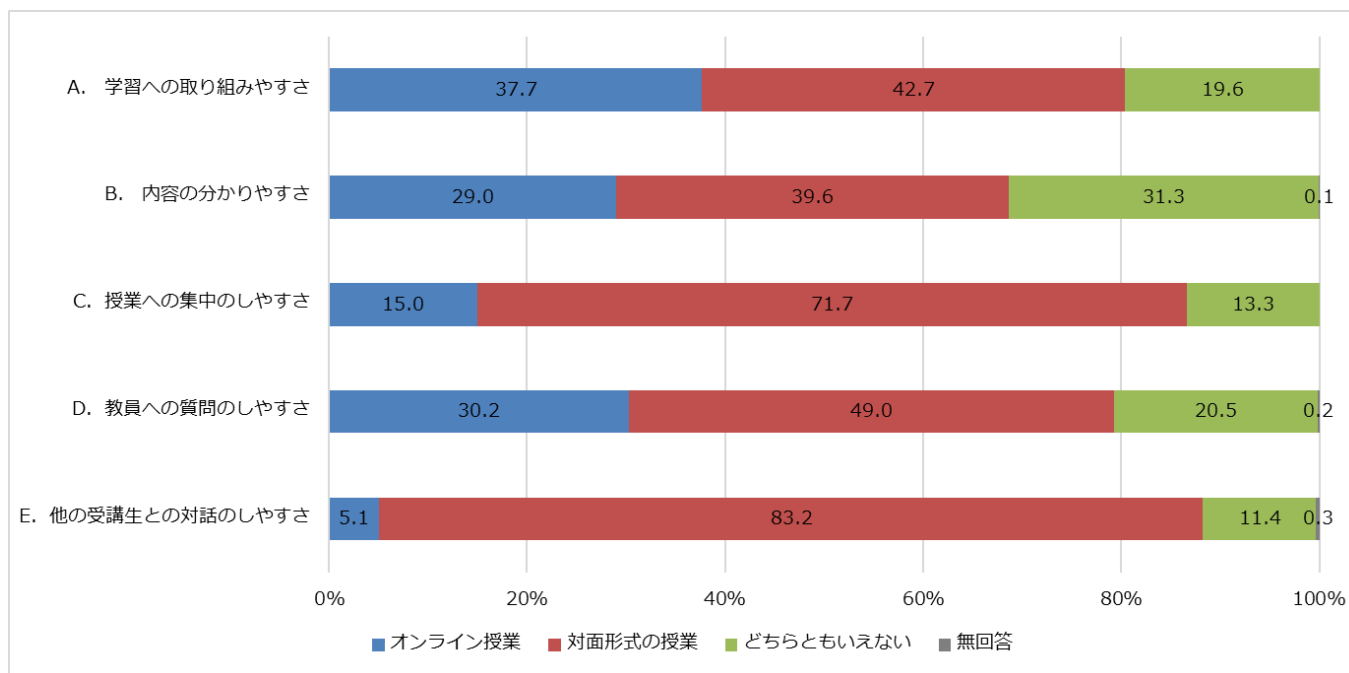


オンライン授業への取り組みについて、「とても満足」「やや満足」の合計は 69.8%、「どちらともいえない」は 19.5%、「やや不満」「とても不満」の合計は 10.3%となっている。

Ⅲ-5. オンライン授業と対面形式の授業

- ・ 全ての項目について「対面形式の授業」の方が「オンライン授業」より高い割合
- ・ 「他の受講生との対話のしやすさ」については78.1%の差がある

Ⅲ-5. オンライン授業とこれまでの対面形式の授業のどちらがよかったですか。あてはまるもの一つにチェックをつけてください。



オンライン授業と対面形式の授業について、全ての項目で「対面形式の授業」が良いと答えた人が「オンライン授業」が良いと答えた人の割合を上回った。特に「E. 他の受講生との対話のしやすさ」では、「オンライン授業」が5.1%、「対面形式の授業」が83.2%と78.1%の差がある。

IV. 在学時の海外経験等

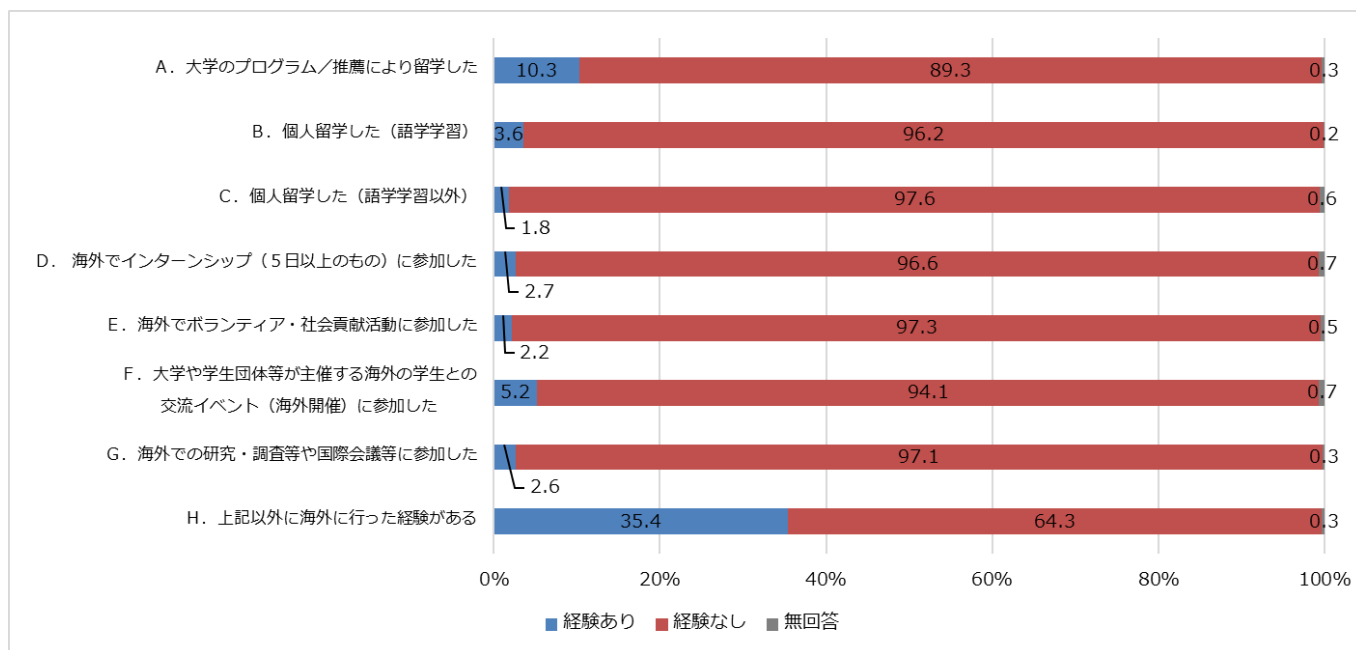
IV-1. 海外経験

他の項目に比べ、「経験あり」の割合が高い：

- ・「大学のプログラム／推薦により留学した」は10.3%
- ・「大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベント(海外開催)に参加した」は5.2%

IV-1. 在学時の海外経験等について、それぞれあてはまるもの一つにチェックをつけてください。

●海外経験の有無

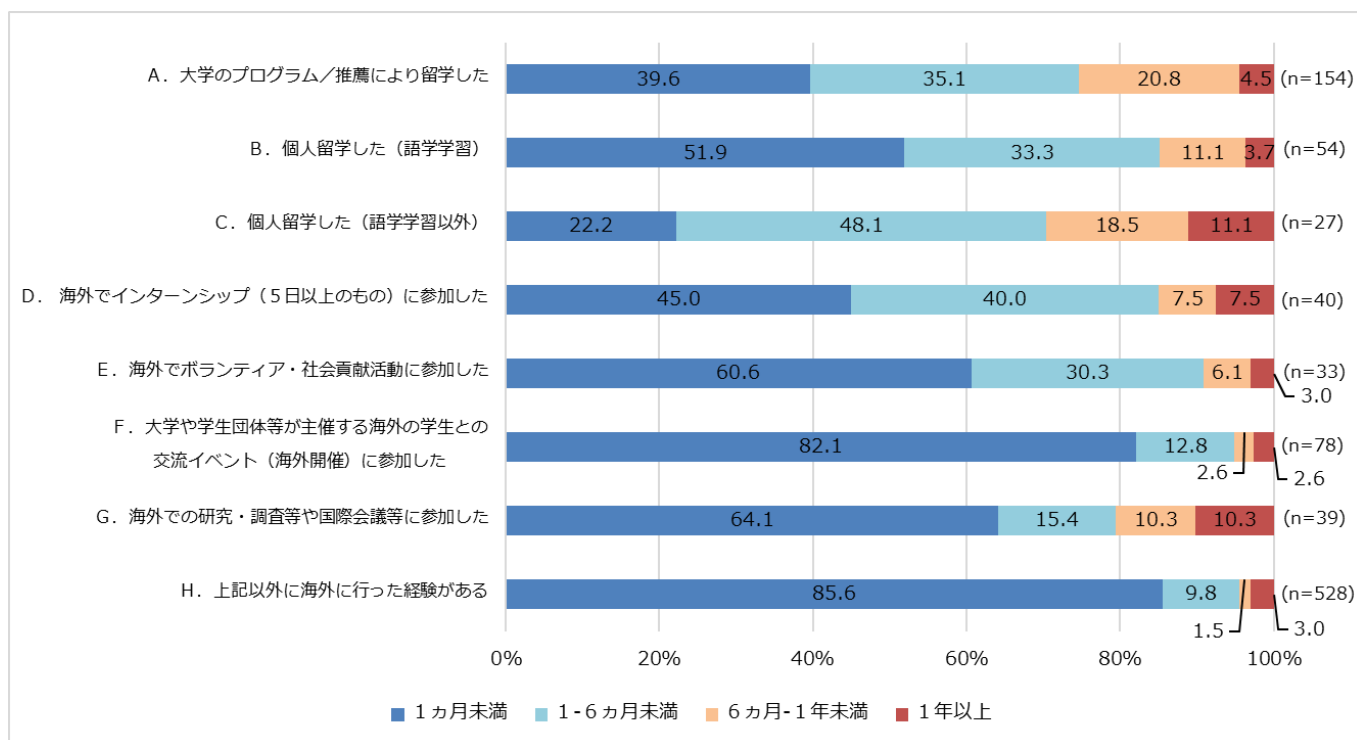


在学時の海外経験等について、全体的に「経験なし」の回答が高い割合となっている。

「経験あり」が最も高い項目は「A. 大学のプログラム／推薦により留学した」(10.3%)である。次いで「F. 大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベント(海外開催)に参加した」(5.2%)、「B. 個人留学した(語学学習)」(3.6%)の順となっている。

また、「H. 上記以外に海外に行った経験がある」は 35.4%となっている。

●海外経験の期間



n は各項目について「経験あり」と回答した合計数

「1ヶ月未満」の割合が高かった項目は、「H. 上記以外に海外に行った経験がある」(85.6%)、次いで「F. 大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベント (海外開催) に参加した」(82.1%) となった。

一方、「1年以上」の割合が高かった項目は、「C. 個人留学した(語学学習以外)」(11.1%)、次いで「G. 海外での研究・調査等や国際会議等に参加した」(10.3%) となった。

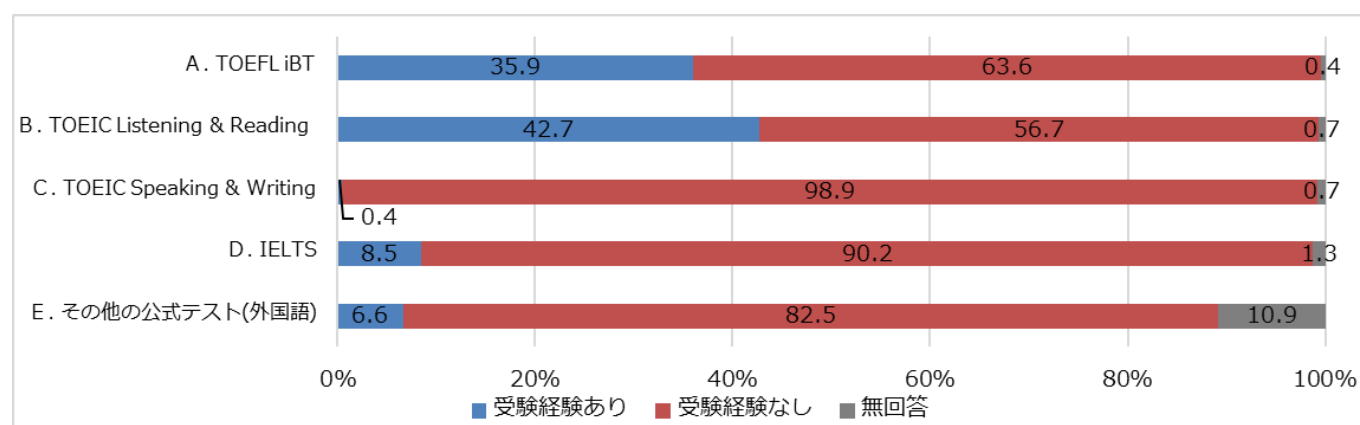
IV-2. 外国語テスト

他の項目に比べ、「受験経験あり」の割合が高い：

- ・「TOEIC Listening & Reading」が42.7%
- ・「TOEFL iBT」が35.9%

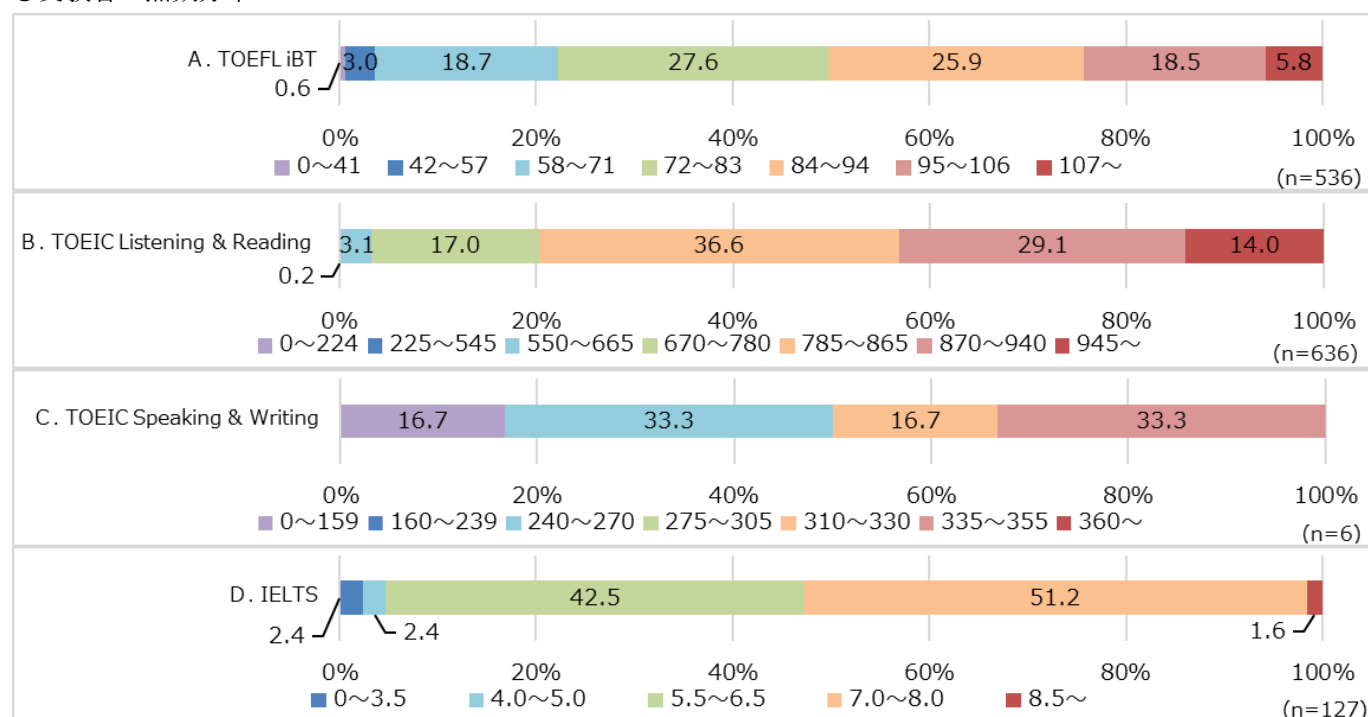
IV-2. あなたは、在学中にTOEFL iBTやTOEIC、IELTS等の公式テストを受験したことがありますか。また、点数はどのくらいでしたか。

●受験経験の有無



外国語テストについて、最も「受験経験あり」の割合が高い項目は「B. TOEIC Listening & Reading」(42.7%)、次いで「A. TOEFL iBT」(35.9%)となった。

●受験者の点数分布



n は各項目について「受験経験あり」と回答した合計数

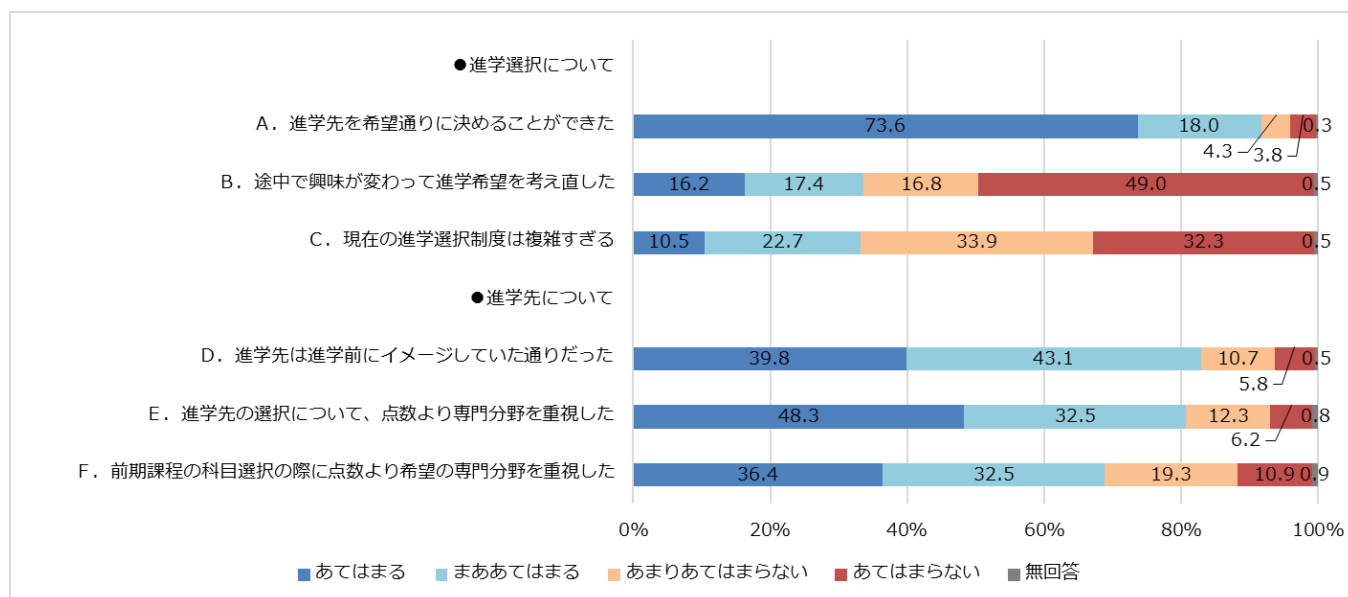
V. 前期と後期の接続

V-1. 進学選択・進学先

他の項目に比べ、「あてはまる」「まああてはまる」の割合が高い：

- ・「進学先を希望通りに決めることができた」は91.7%
- ・「進学先は進学前にイメージしていた通りだった」は83.0%
- ・「進学先の選択について、点数より専門分野を重視した」は80.8%

V-1. 進学選択や進学先について伺います。



進学選択や進学先について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が最も高い項目は、「A. 進学先を希望通りに決めることができた」(91.7%)である。次いで「D. 進学先は進学前にイメージしていた通りだった」(83.0%)、「E. 進学先の選択について、点数より専門分野を重視した」(80.8%)の順となっている。

VI. 大学生活を通じた満足度

VI-1. 満足度

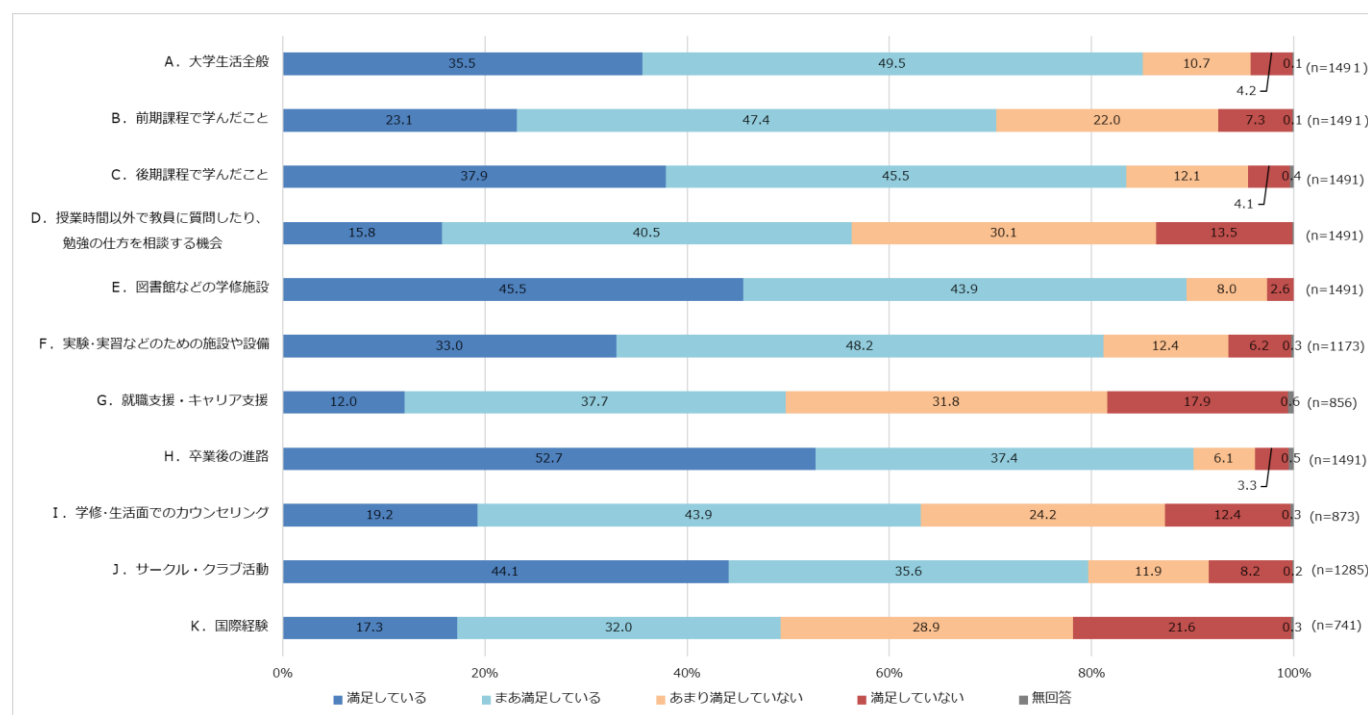
他の項目に比べ、「満足している」「まあ満足している」の割合が高い：

- ・「卒業後の進路」は90.1%
- ・「図書館などの学修施設」は89.4%
- ・「大学生活全般」は85.0%

他の項目に比べ、「満足している」「まあ満足している」の割合が低い：

- ・「国際経験」：49.3%
- ・「就職支援・キャリア支援」：49.8%
- ・「授業時間以外で教員に質問したり、勉強の仕方を相談する機会」：56.3%

VI-1. あなたの大学生活を通じた満足度について伺います。



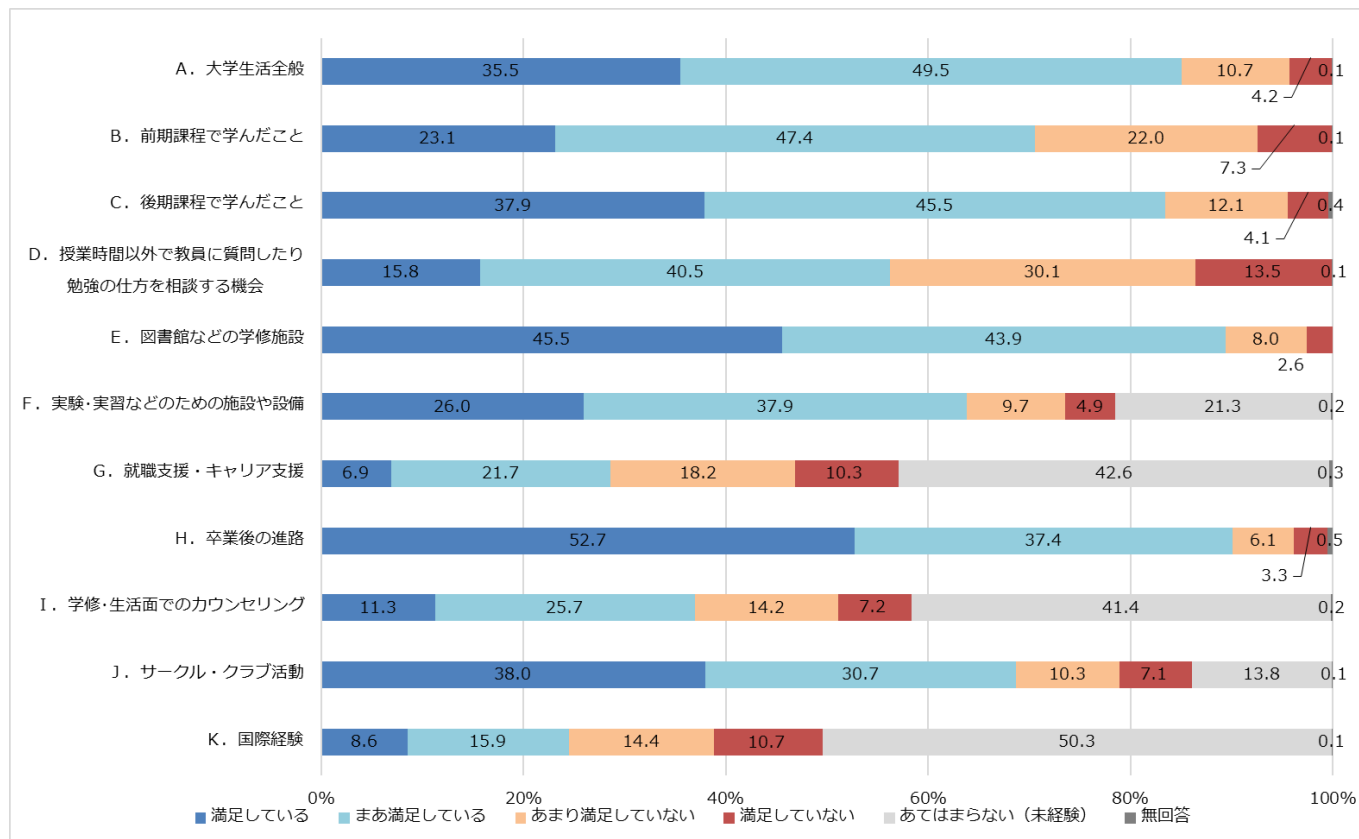
n は「あてはまらない(未経験)」と回答した学生を除いた回答者数

大学生活の満足度について、「満足している」と「まあ満足している」の合計が最も高い項目は、「H. 卒業後の進路」(90.1%)である。次いで「E. 図書館などの学修施設」(89.4%)、「A. 大学生活全般」(85.0%)の順となっている。

一方で、「満足している」と「まあ満足している」の合計が最も低い項目は、「K. 国際経験」(49.3%)である。次いで、「G. 就職支援・キャリア支援」(49.8%)、「D. 授業時間以外で教員に質問したり、勉強の仕方を相談する機会」(56.3%)となっている。

●参考

「F. 実験・実習などのための施設や設備」「G. 就職支援・キャリア支援」「I. 学修・生活面でのカウンセリング」「J. サークル・クラブ活動」「K. 国際経験」の満足度において、「あてはまらない（未経験）」と回答した学生を除く前のグラフ

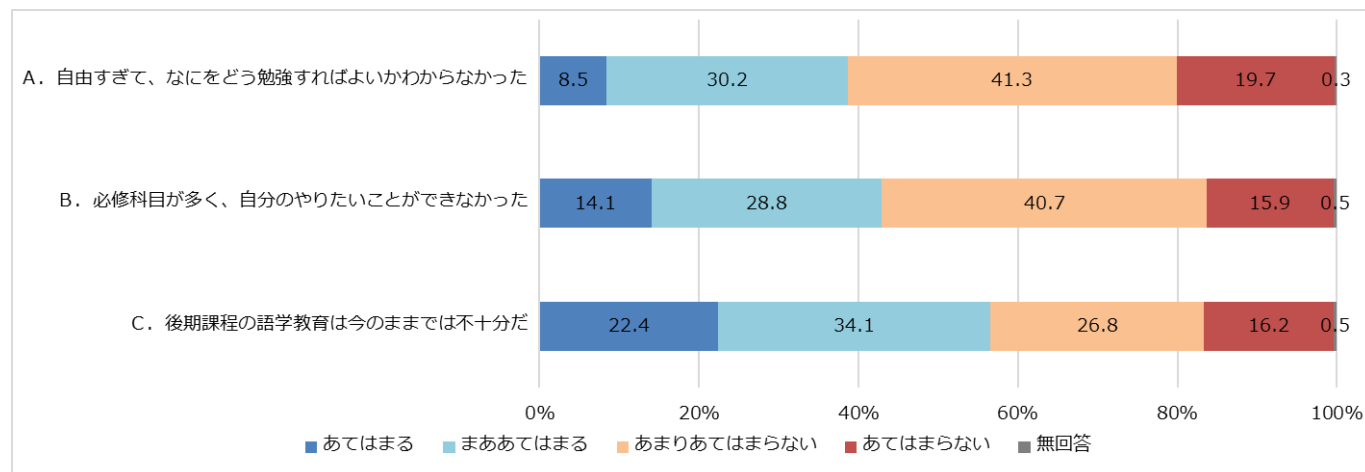


VI-2. 大学のカリキュラム

他の項目に比べ、「あてはまる」「まああてはまる」の割合が高い：

- ・「後期課程の語学教育は今のままでは不十分だ」は56.5%

VI-2. 大学のカリキュラムについて伺います。



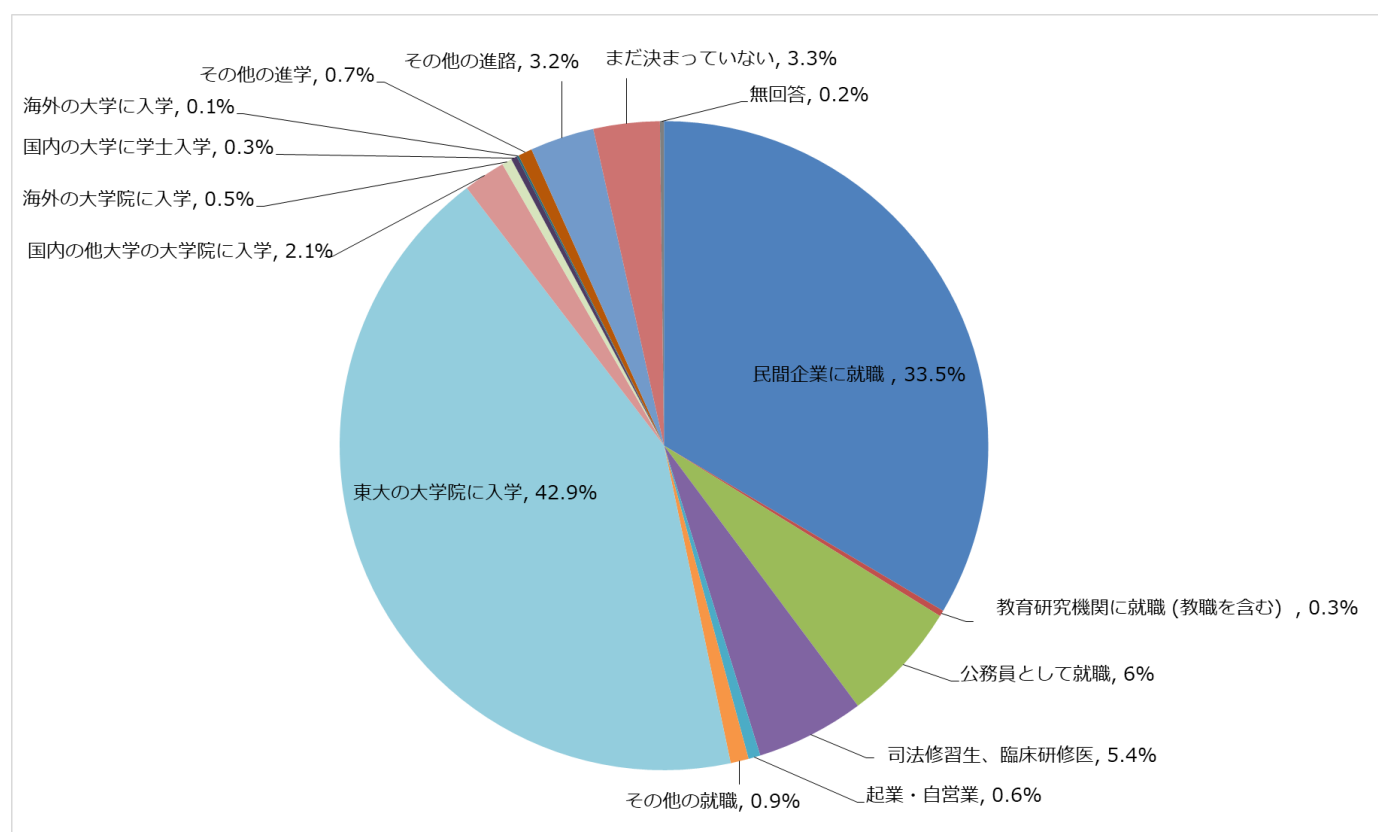
「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が最も高い項目は、「C. 後期課程の語学教育は今のままでは不十分だ」(56.5%)である。次いで「B. 必修科目が多く、自分のやりたいことができなかった」(42.9%)、「A. 自由すぎて、なにをどう勉強すればよいかわからなかった」(38.6%)の順となっている。

VII. 卒業後の進路

VII-1. 卒業後の予定

- ・「就職」「入学・進学」：ともに46.7%
- ・「就職」のうち「民間企業に就職」：33.5%
- ・「入学・進学」のうち「東大の大学院に入学」：42.9%

VII-1. 卒業後の予定は、下の項目ではどれにあたりますか。



卒業後の予定について、就職は合わせて 46.7%で、その内訳は「民間企業に就職」(33.5%)、「教育研究機関に就職 (教職を含む)」(0.3%)、「公務員として就職」(6.0%)、「司法修習生、臨床研修医」(5.4%)、「起業・自営業」(0.6%)、「その他の就職」(0.9%) となっている。

また、入学・進学も合わせて 46.7%となっており、その内訳は「東大の大学院に入学」(42.9%)、「国内の他大学の大学院に入学」(2.1%)、「海外の大学院に入学」(0.5%)と合わせて、大学院入学予定は 45.5%となっている。さらに、「国内の大学に学士入学」(0.3%)、「海外の大学に入学」(0.1%)、「その他の進学」(0.7%)となっている。

（参考）経年変化

2008年度（2009年3月実施）から16回目となる今回までの調査結果について、増加あるいは減少傾向がみられる項目やオンライン授業に関する項目を中心に経年データを示す。

以下のことが考えられるため留意が必要である。

- ・ 回答率の増減

2017 年度・2018 年度は 8～9 割程度、2019 年度は 43.3%、2020 年度は 30.9%、2021 年度は 51.3%、2022 年度は 63.2%、2023 年度は 58.3%。

- ・ 回答者の学部別割合の増減

2018 年度までは卒業生の学部別割合に近かった。

2019 年度は工学部と文学部の増加が大きく、2020 年度は法学部の増加、工学部の減少が大きかった。

2021 年度及び 2022 年度は卒業生の学部別割合に近づいたが、2023 年度は工学部の割合が再び減少した。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響

2020 年 2 月頃（2019 年度）から新型コロナウイルス感染症の影響が出始めた。

2019 年度調査に回答した学生は、新型コロナウイルス感染症の影響をほぼ受けていないと考えられる。

2020 年度以降の調査に回答した学生は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた。

（新型コロナウイルス感染症対策のため、2020 年度、2021 年度は多くの授業がオンラインで開講された。）

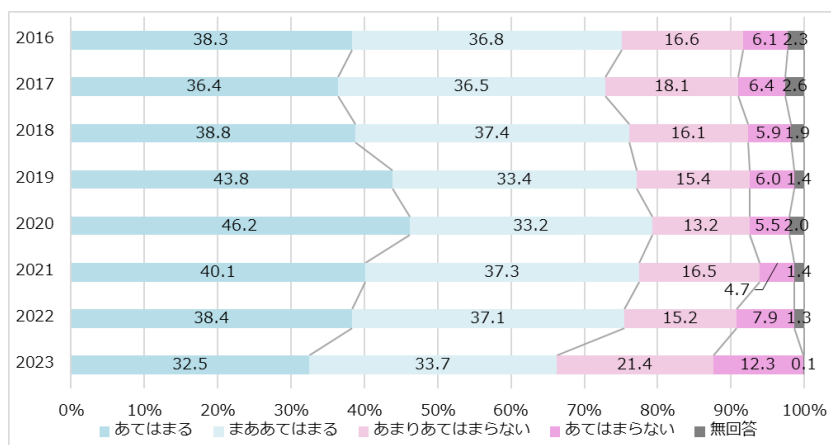
今回の調査に回答した学生の 7 割以上は 2020 年度入学であり、前期課程の 2 年間に特に大きな影響を受けたと考えられる。

- ・ データクリーニングの実施

2023 年度調査より、データクリーニング（＝明らかに不適切な回答をしていると思われる回答データの削除）を行った。データクリーニングの結果、全回答者 1,730 名のうち 86.2%にあたる 1,491 名の回答を有効回答とした。

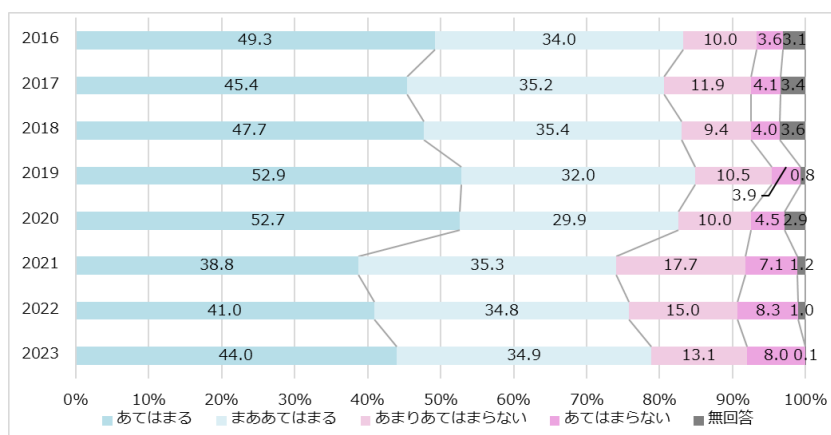
II-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

C. 優れた友人に感化された（前期課程）



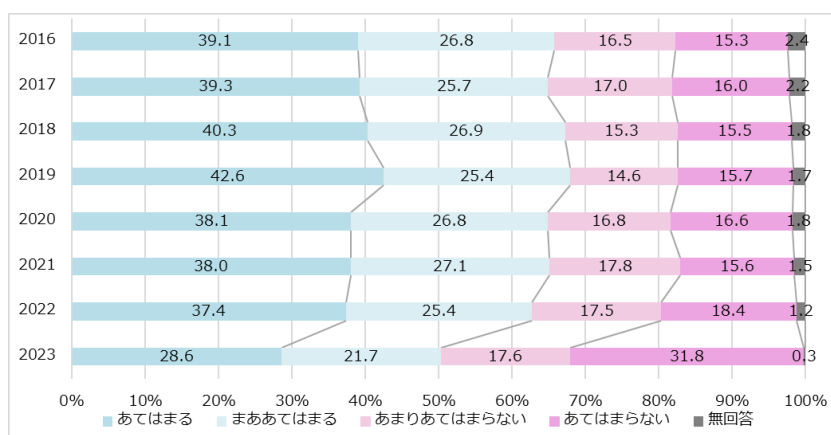
「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より9.3%減少した。
近年は減少傾向にある。

C. 優れた友人に感化された（後期課程）



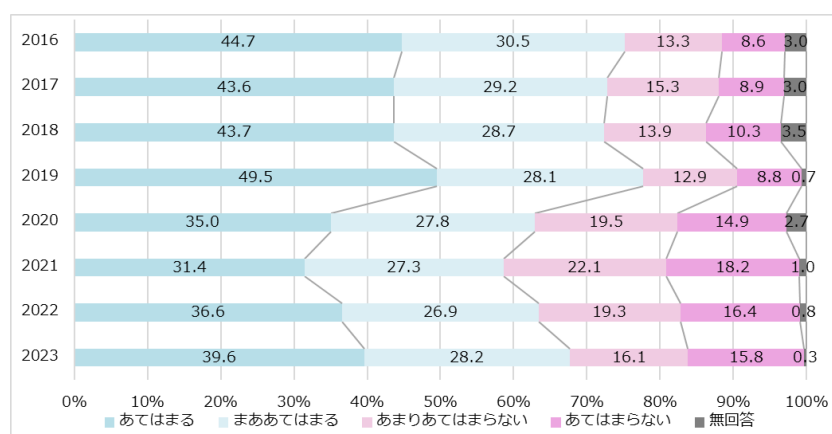
「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より3.1%増加した。

D. 研究室やサークルなどのOB、OG と知り合いになれた（前期課程）



「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より12.5%減少した。
また、「あてはまらない」の割合が13.4%増加した。

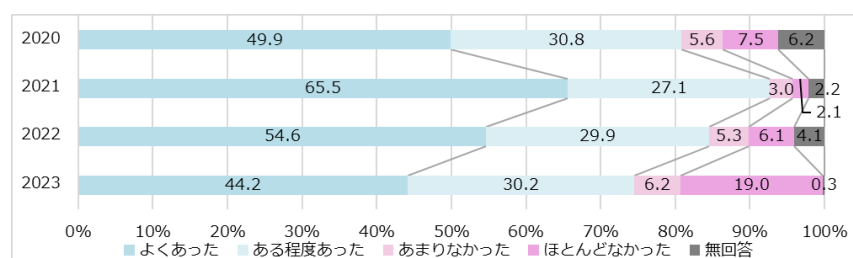
D. 研究室やサークルなどのOB、OGと知り合いになれた（後期課程）



「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より4.3%増加した。

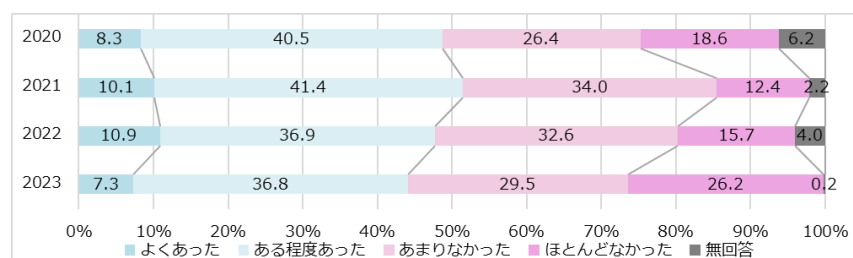
Ⅲ-3. あなたが今年度で大学で受けたオンライン授業の中で、次のような授業はおおよそどれくらいありましたか。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

A. オンラインで教員が一方的に講義をする授業



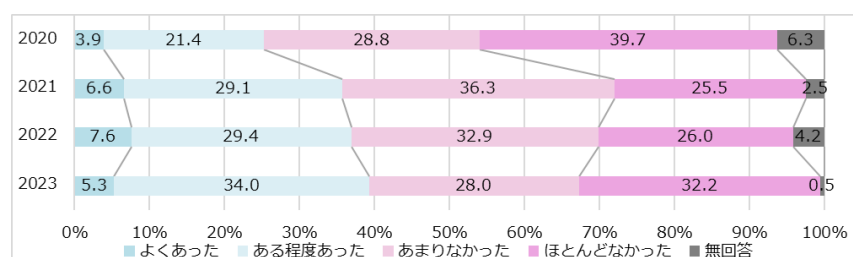
「よくあった」と「ある程度あった」の合計が、前年度より10.1%減少した。

B. オンラインで教員と学生の間に対話がある授業



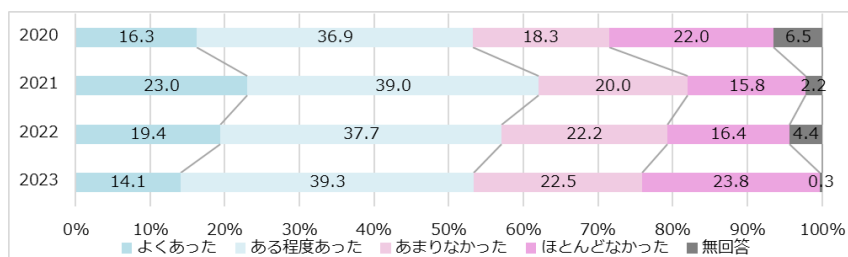
「よくあった」と「ある程度あった」の合計が、前年度より3.7%減少した。

C. オンラインで学生同士のディスカッションがある授業



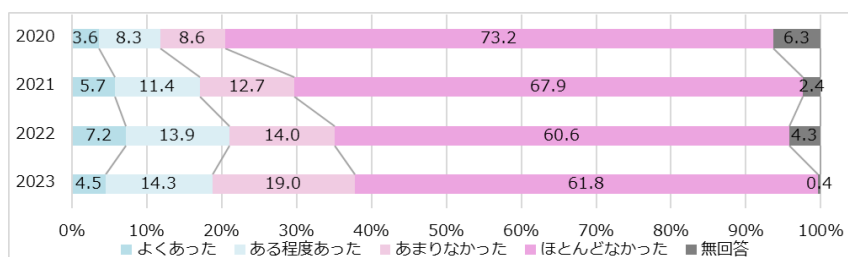
「よくあった」と「ある程度あった」の合計が、前年度より2.3%増加した。

D. オンラインで録画をいつでも見られる授業



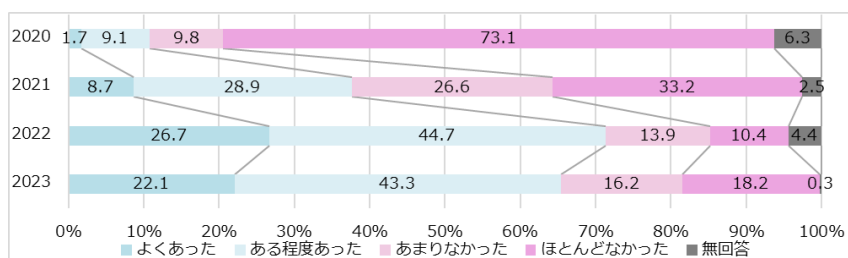
「よくあった」と「ある程度あった」の合計が、前年度より 3.7%減少した。

E. オンラインで講義がなく課題だけが出される授業



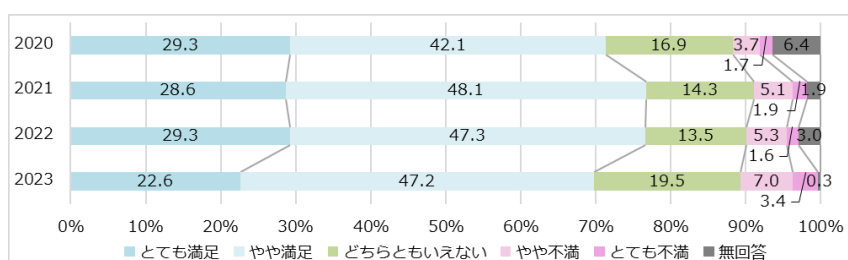
「よくあった」と「ある程度あった」の合計が、前年度より 2.3%減少した。

F. オンラインと対面を組み合わせた授業



「よくあった」と「ある程度あった」の合計が、前年度より 6.0%減少した。

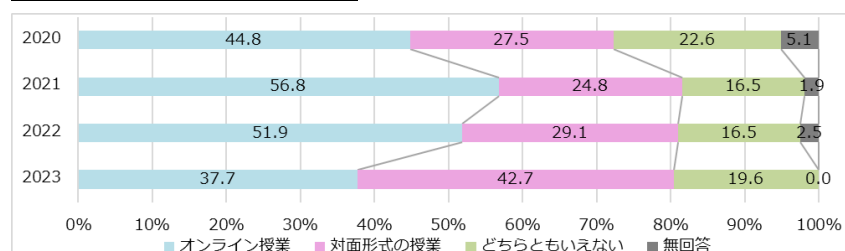
Ⅲ-4. 東京大学でのオンライン授業への取り組みに対して、あなたはどのように感じていますか。あてはまるもの一つにチェックをつけてください。



「とても満足」と「やや満足」の合計が、前年度より 6.8%減少した。

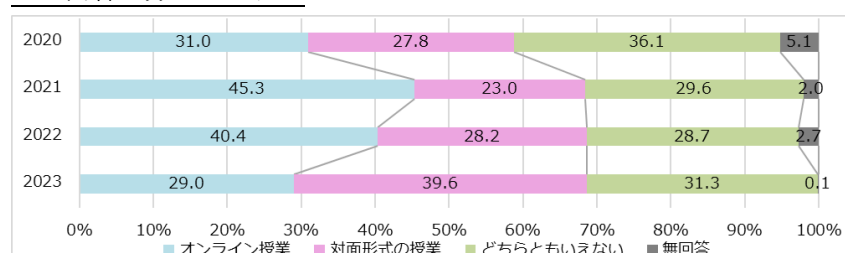
Ⅲ-5. オンライン授業とこれまでの対面形式の授業のどちらがよかったですか。あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

A. 学習への取り組みやすさ



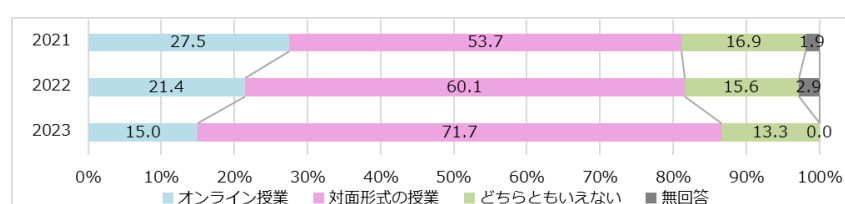
前年度と比べて、「オンライン授業」は14.2%減少した一方で、「対面形式の授業」は13.6%増加した。

B. 内容の分かりやすさ



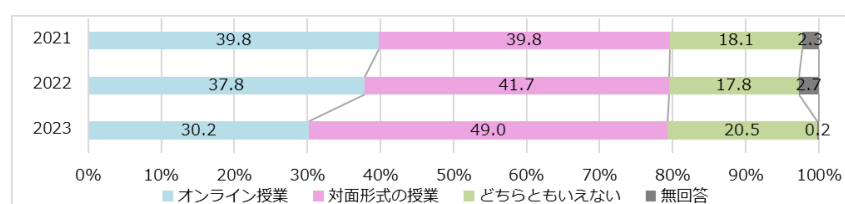
前年度と比べて、「オンライン授業」は11.4%減少した一方で、「対面形式の授業」は11.4%増加した。

C. 授業への集中のしやすさ



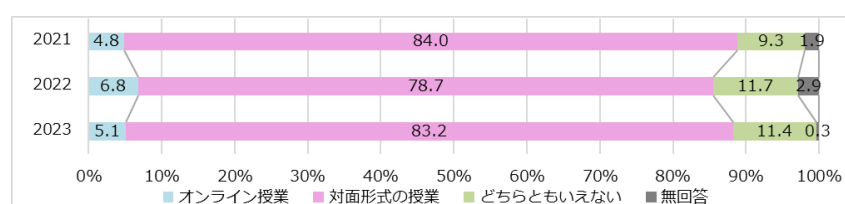
前年度と比べて、「オンライン授業」は6.4%減少した一方で、「対面形式の授業」は11.6%増加した。

D. 教員への質問のしやすさ



前年度と比べて、「オンライン授業」は7.6%減少した一方で、「対面形式の授業」は7.3%増加した。

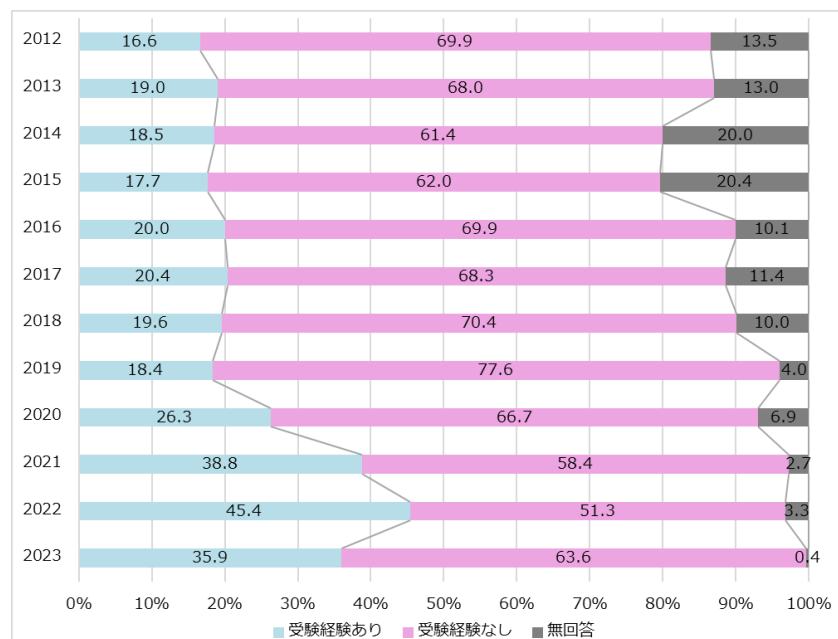
E. 他の受講生との対話のしやすさ



前年度と比べて、「オンライン授業」は1.7%減少した一方で、「対面形式の授業」は4.5%増加した。

IV-2. あなたは、在学中に TOEFL iBT や TOEIC、IELTS 等の公式テストを受験したことがありますか。

A. TOEFL iBT



「受験経験あり」が前年度より9.5%減少した。

V-1. 進学選択や進学先について伺います。

A. 進学先を希望通りに決めることができた



「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より 6.3%増加した。

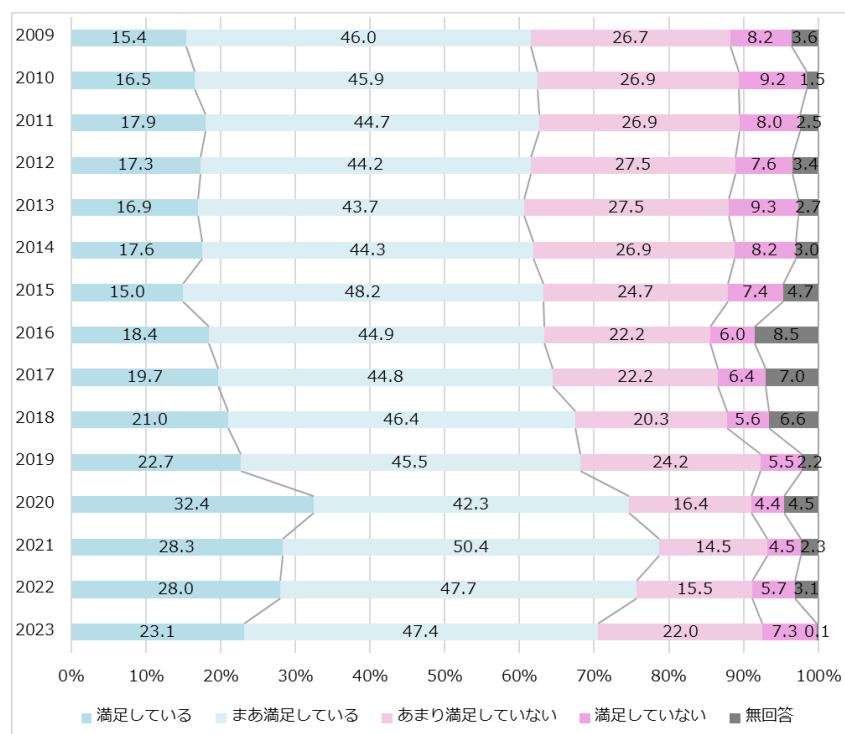
D. 進学先は進学前にイメージしていた通りだった



「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より 8.1%増加した。

VI-1. あなたの大学生生活を通じた満足度について伺います。

B. 前期課程で学んだこと



「満足している」と「まあ満足している」の合計が、前年度より 5.2%減少した。

自由記述

自由記述は、内容を精査のうえ分類し、要約してまとめた。

III-6 コロナ禍の中でどのようなサポートを東京大学にしてほしかったですか。意見を自由にお書きください。

■授業方法

- ・オンライン授業は出来るだけオンデマンド配信してほしかった。
- ・対面形式の授業をもう少し早く再開し、対象となる授業の数も増やしてほしかった。
- ・オンライン試験の方法が分かりにくかったので、事前によく説明してほしかった。

■学修環境・サポート

- ・学内でオンライン授業を受講できる場所を提供してほしかった。
- ・教室にノート PC 等を充電するためのコンセントや電源タップを整備してほしかった。
- ・オンライン授業では、授業ごとに学生が連絡を取り合えるようなサポートがあれば良かった。

■交流の場

- ・他の学生と交流する機会がもっとほしかった。特に前期課程でクラスの人との交流がなく、その結果、後期課程で他学科に進学する学生との交流の機会も得られなかった。
- ・授業の組み方などを先輩に聞く機会を、もっと多く設けてもらえるとよかった。

■情報提供

- ・授業の履修や留学、資格取得、経済的援助について、必要な情報を得るのに苦労した。
- ・高校や予備校の繋がりが無い学生にとっては、授業や履修に関する情報を手に入れるのがより困難だった。特に入学時については、大学側からもっと積極的に情報を提供し、サポートしてほしかった。

■その他

- ・教員などに学修や進路について相談できる体制を整えてほしかった。
- ・精神的なケアをもっと積極的に行ってほしかった。例えば、定期的なアンケートを行い、それに基づくサポートがあると良かった。

VIII-1 東京大学の学修環境、カリキュラム、あなたの学修経験・大学生活等について、満足だった点、不満だった点を具体的にお書きください。

【満足だった点】

■カリキュラム・進学選択

- ・進学選択制度により、前期課程の間に授業などを通じて希望する進学先（専門分野）を考え直すことができた。
- ・後期課程は教員との繋がりが深く、多くの演習や実験・実習、課外活動に参加できた。
- ・他学部履修により、専門分野以外にも興味がある分野を学ぶことができた。また、様々な分野を学ぶことで、自身の専門分野を異なった角度から捉えることができた。

■学修環境・学修サポート

- ・多様な教員・学生から多くの刺激を受けた。
- ・国際経験を積むための様々な機会が提供されており、留学では奨学金などのサポートを受けることができた。
- ・図書館の蔵書やオンラインデータベースが充実していた。
- ・コロナ禍で速やかに授業がオンライン化されたことで学びを継続できた。

■その他

- ・体験活動プログラムやジュニア・スタッフ制度により、学業とは異なる経験を得ることができた。

【不満だった点】

■カリキュラム・授業方法

- ・前期課程の必修科目が多かった。
- ・前期課程の修了要件が複雑で理解が難しかった。
- ・後期課程で語学に関する授業（特にアウトプットする機会）が不足していた。
- ・資格取得に必要な授業（教職課程も含む）について、開講曜限が所属学部・学科の授業と重複して履修が困難だった。キャンパス間の移動に配慮して、オンライン形式またはハイブリッド形式で開講してもらいたい。
- ・講義と講義の間が10分しかなく、講義後に教員へ質問したり、余裕をもって教室移動することが難しかった。
- ・レポートや課題に対してフィードバックがほしかった。

■学修環境・サポート

- ・後期課程進学後、専門分野とは異なる分野の学生や教員と交流する機会が少ない。
- ・設備（コンセントやWi-Fiなど）の整備状況について、教室によってばらつきがあった。
- ・自主学習や友人とディスカッションできるスペースが少なかった。
- ・卒業論文の書き方や研究の進め方について指導がほしかった。

■語学教育

- ・大学から提供されている語学関係のプログラムや国際交流イベントは、ある程度のレベルの学生を対象としているものが多く、苦手意識のある学生にとっては参加しにくかった。

■情報提供・システム

- ・卒業までに必要な残りの単位を学務システムで確認できず不安に感じた。
- ・授業以外の情報の掲載場所が散在しており、入手するのに非常に不便だった。

■その他

- ・学生宿舎が大学から遠く、部屋数や施設も充実しているとは言い難い。
- ・地方出身の学生のため、成人式前後の授業についてはオンラインで配信するなど配慮してほしい。
- ・出身地やジェンダーなどに偏りが大きい。設備面で女性への配慮が不足している。

VIII-2 東京大学の教育や学修環境の向上のために何が必要だと思いますか。意見を自由にお書きください。

■カリキュラム・授業方法

- ・分野横断型の授業や少人数でのディスカッションがある授業の増加
- ・企業や外部団体と共同で行う授業やプロジェクトの増加
- ・後期課程における語学に関する授業の充実（習熟度別授業、プレゼンテーション練習など）
- ・情報教育の充実

■学修環境・サポート

- ・自主学習スペースの拡充
- ・学生が友人と自主勉強会やディスカッション、交流を行うことができる屋内のフリースペースの拡充
- ・レポートや課題に対するフィードバック
- ・学生の学修をサポートする体制の拡充（TA やオフィスアワーなど）
- ・教室設備の改善（コンセントの増設、空調の改善、十分な座席間隔の確保など）
- ・外灯設置など夜間のキャンパスの環境整備

■進学選択

- ・進学選択に捉われない前期課程での履修授業の選択
- ・各学部の学修内容や卒業後の進路などに関する情報に触れる機会の充実

■情報提供・システム

- ・大学から学生への情報提供方法の改善
- ・卒業要件を満たしているかどうかを自身で確認できるシステムの整備

■その他

- ・メンタルヘルスケアや学修相談、進路相談、就職支援の充実
- ・海外渡航支援の充実、国際交流の機会の充実
- ・構成員の多様性（ジェンダー、出身地、国籍、社会人経験など）の向上とそれに対応する環境整備
- ・学生宿舎の拡充と設備等の改善

大学教育の達成度調査（2008年度-2023年度）回答率

	2008年度			2009年度			2010年度			2011年度			2012年度		
	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率
法学部	408	152	37.3%	398	156	39.2%	398	32	8.0%	425	407	95.8%	407	395	97.1%
医学部	133	23	17.3%	129	19	14.7%	109	20	18.3%	121	18	14.9%	124	112	90.3%
工学部	895	93	10.4%	897	437	48.7%	943	681	72.2%	978	631	64.5%	950	630	66.3%
文学部	336	42	12.5%	291	263	90.4%	370	265	71.6%	352	272	77.3%	360	303	84.2%
理学部	305	225	73.8%	277	202	72.9%	293	228	77.8%	318	240	75.5%	282	239	84.8%
農学部	279	258	92.5%	272	247	90.8%	267	245	91.8%	279	257	92.1%	266	233	87.6%
経済学部	337	275	81.6%	354	330	93.2%	358	349	97.5%	333	304	91.3%	329	287	87.2%
教養学部	165	35	21.2%	141	25	17.7%	184	21	11.4%	154	144	93.5%	186	148	79.6%
教育学部	96	40	41.7%	102	29	28.4%	101	20	19.8%	110	105	95.5%	99	96	97.0%
薬学部	90	84	93.3%	78	73	93.6%	78	75	96.2%	91	90	98.9%	86	81	94.2%
合計	3,044	1,227	40.3%	2,939	1,781	60.6%	3,101	1,936	62.4%	3,161	2,468	78.1%	3,089	2,524	81.7%

	2013年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度		
	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率
法学部	409	387	94.6%	390	389	99.7%	376	365	97.1%	386	367	95.1%	396	382	96.5%
医学部	129	121	93.8%	126	113	89.7%	131	124	94.7%	136	121	89.0%	119	109	91.6%
工学部	966	669	69.3%	956	610	63.8%	940	639	68.0%	973	658	67.6%	981	760	77.5%
文学部	327	294	89.9%	372	318	85.5%	311	273	87.8%	338	279	82.5%	279	238	85.3%
理学部	280	203	72.5%	301	228	75.7%	292	206	70.5%	307	243	79.2%	301	221	73.4%
農学部	272	234	86.0%	272	241	88.6%	269	243	90.3%	254	219	86.2%	268	213	79.5%
経済学部	343	292	85.1%	357	284	79.6%	319	250	78.4%	345	201	58.3%	323	236	73.1%
教養学部	166	158	95.2%	175	156	89.1%	171	143	83.6%	169	137	81.1%	192	141	73.4%
教育学部	108	99	91.7%	90	75	83.3%	99	98	99.0%	90	80	88.9%	101	94	93.1%
薬学部	84	80	95.2%	82	80	97.6%	89	86	96.6%	82	65	79.3%	78	69	88.5%
合計	3,084	2,537	82.3%	3,121	2,494	79.9%	2,997	2,427	81.0%	3,080	2,370	76.9%	3,038	2,463	81.1%

	2018年度			2019年度			2020年度			2021年度			2022年度		
	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率	卒業 者数	回答 者数	回答率
法学部	360	345	95.8%	358	42	11.7%	408	335	82.1%	384	314	81.8%	390	355	91.0%
医学部	132	119	90.2%	126	29	23.0%	146	6	4.1%	126	25	19.8%	150	119	79.3%
工学部	982	844	85.9%	966	641	66.4%	951	147	15.5%	981	378	38.5%	973	550	56.5%
文学部	317	283	89.3%	334	308	92.2%	345	70	20.3%	330	96	29.1%	307	124	40.4%
理学部	267	225	84.3%	293	83	28.3%	299	159	53.2%	298	167	56.0%	296	90	30.4%
農学部	278	236	84.9%	261	50	19.2%	235	86	36.6%	261	135	51.7%	246	144	58.5%
経済学部	314	302	96.2%	335	40	11.9%	323	34	10.5%	366	283	77.3%	324	251	77.5%
教養学部	187	117	62.6%	183	56	30.6%	180	57	31.7%	208	70	33.7%	177	146	82.5%
教育学部	99	98	99.0%	96	35	36.5%	107	46	43.0%	95	90	94.7%	100	98	98.0%
薬学部	81	63	77.8%	78	27	34.6%	89	13	14.6%	88	52	59.1%	85	49	57.6%
合計	3,017	2,632	87.2%	3,030	1,311	43.3%	3,083	953	30.9%	3,137	1,610	51.3%	3,048	1,926	63.2%

	2023年度		
	卒業 者数	回答 者数	回答率
法学部	366	328	89.6%
医学部	139	122	87.8%
工学部	948	278	29.3%
文学部	288	110	38.2%
理学部	296	166	56.1%
農学部	239	118	49.4%
経済学部	328	316	96.3%
教養学部	173	142	82.1%
教育学部	102	96	94.1%
薬学部	86	54	62.8%
合計	2,965	1,730	58.3%

※ 各年度の卒業生数は3月卒業者のみ

問い合わせ：教育・学生支援部学務課教育改革推進チーム

大学教育の達成度調査

【調査へのご協力をお願い】

この調査は東京大学の教育・研究環境の向上を目的として、卒業される学生の皆さんに、東京大学の教育や学修環境、学修経験や大学生活についてお聞きするものです。

本アンケートは、本学で分析し、その結果を本学の自己評価および教育改善に利用し、本学 web ページ(<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/edu-data/graduatesurvey.html>)において公表します。答えにくい設問は、差し支えない範囲で回答してください。回答の所要時間は 20 分程度です。皆さんの回答が大学の貴重な資料となりますので、是非ご協力をお願いします。

【個人情報の取扱い】

本アンケートの実施・集計等に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた者(以下「受託者」という。)において行うことがあります。ついては、受託者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、アンケートの回答の全部または一部を提供します。その際には、個人情報の保護に関する法令および本学関連規則(東京大学の個人情報等に関する取扱規則 https://www.u-tokyo.ac.jp/gen01/reiki_int/reiki_honbun/au07408321.html)等に基づいて必要な処置を行います。また、本アンケートの結果は、統計処理および匿名処理をした資料として活用し、また特定の個人が識別できる情報として公表されることはありません。

回答データは、回答者の個人情報およびプライバシー保護に留意し、厳重に保管します。

東京大学 教育運営委員会

学部・大学院教育部会 達成度調査 WG

2024 年 2 月

【回答期間】2024 年 2 月 22 日(木) 9:00 ～ 3 月 31 日(日) 17:00

I. あなた自身について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

I-1 あなたは学部学生で、2024 年 3 月に卒業予定ですか？ *必須

- ☐ 1. はい
- ☐ 2. いいえ→この調査の対象ではありません。回答は不要です。

I-2 入学試験についてお答えください

- ☐ 1. 一般入試
- ☐ 2. 推薦入試
- ☐ 3. 特別選考(第1種:私費留学生)
- ☐ 4. 特別選考(第2種:帰国生徒)
- ☐ 5. 特別選考(PEAK:学部英語コース)
- ☐ 6. 特別選考(国費留学生等)
- ☐ 7. 編入学・再入学・学士入学

I-3 前期課程 入学年度をお答えください

- ☐ 1. 2020 以降
- ☐ 2. 2019
- ☐ 3. 2018
- ☐ 4. 2017
- ☐ 5. 2016
- ☐ 6. 2015 以前

I-4 前期課程 科類をお答えください

- ☐ 1. 文一
- ☐ 2. 文二
- ☐ 3. 文三
- ☐ 4. 理一
- ☐ 5. 理二
- ☐ 6. 理三

I-5 後期課程 入・進学年度をお答えください

- ☐ 1. 2022 以降
- ☐ 2. 2021
- ☐ 3. 2020
- ☐ 4. 2019
- ☐ 5. 2018
- ☐ 6. 2017 以前

I-6 後期課程 所属学部等をお答えください *必須

- ☐ 1. 法学部
- ☐ 2. 医学部(医学)
- ☐ 3. 医学部(健康総合)
- ☐ 4. 工学部
- ☐ 5. 文学部
- ☐ 6. 理学部
- ☐ 7. 農学部(生命・環境)
- ☐ 8. 農学部(獣医)
- ☐ 9. 経済学部
- ☐ 10. 教養学部(文系)
- ☐ 11. 教養学部(理系)
- ☐ 12. 教育学部
- ☐ 13. 薬学部(薬科学)
- ☐ 14. 薬学部(薬学)

I-7 所属学科・コース等をお答えください

I-8 性別をお答えください

- ☐ 1. 男
- ☐ 2. 女
- ☐ 3. その他
- ☐ 4. 回答しない

I-9 通学・住居をお答えください

- ☐ 1. 自宅・実家通学
- ☐ 2. 自宅外通学(マンション、アパート、下宿等)
- ☐ 3. 東大学生宿舎
- ☐ 4. その他学生寮
- ☐ 5. その他

I-10 出身高校等の種別をお答えください

- ☐ 1. 国立(大学附属)
- ☐ 2. 中高一貫型の公立学校
- ☐ 3. その他の公立学校
- ☐ 4. 中高一貫型の私立学校
- ☐ 5. その他の私立学校
- ☐ 6. 外国の学校
- ☐ 7. 高等学校卒業程度認定試験(廃止前の大学入学資格認定)
- ☐ その他:

I-11 後期課程 学籍番号(8桁)をお答えください

※学籍番号の記入は任意ですが、東京大学の教育・研究環境の向上に役立てるため他のデータとともに分析することがあります。あなたの回答が他に知られることがないよう、学籍番号は暗号化して分析しますのでご協力ください。

Ⅱ. 在学時の経験について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

Ⅱ-1 入学時の様子について伺います。つぎのことは、どの程度あてはまりますか。

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

A.大学に入ってからやりたいことが明確に決まっていた

☐

☐

☐

☐

B.入学前から、受験勉強の範囲を超えて、アカデミックな知識や思想について勉強していた

☐

☐

☐

☐

Ⅱ-2 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

A.(前期)自主勉強会など自分の興味ある学修をする機会を得られた

☐

☐

☐

☐

A.(後期)自主勉強会など自分の興味ある学修をする機会を得られた

☐

☐

☐

☐

B.(前期)一つのことに没頭して取り組んだことがある

☐

☐

☐

☐

B.(後期)一つのことに没頭して取り組んだことがある

☐

☐

☐

☐

C.(前期)優れた友人に感化された

☐

☐

☐

☐

C.(後期)優れた友人に感化された

☐

☐

☐

☐

D.(前期)研究室やサークルなどのOB、OGと知り合いになれた

☐

☐

☐

☐

D.(後期)研究室やサークルなどのOB、OGと知り合いになれた

☐

☐

☐

☐

E.(前期)自分の専門以外の本をよく読んだ

☐

☐

☐

☐

E.(後期)自分の専門以外の本をよく読んだ

☐

☐

☐

☐

F.(前期)専門書 や学術雑誌を よく読んだ	☐	☐	☐	☐
F.(後期)専門書 や学術雑誌を よく読んだ	☐	☐	☐	☐
G.(後期)後期 課程では授業に ついていくのに 苦労した	☐	☐	☐	☐
H.(後期)就職 活動に時間を 割きすぎた	☐	☐	☐	☐

Ⅱ-3 大学が提供するプログラム等の履修または参加について伺います。それぞれについて、「履修または参加した（「非常に有用だった」、「有用だった」、「あまり有用ではなかった」、「有用ではなかった」）」、「知っているが履修または参加したことはない」、「知らない」に分けて、あてはまる番号にチェックをつけてください。

1. 履修または参加した（非常に有用だった） 2. 履修または参加した（有用だった） 3. 履修または参加した（あまり有用ではなかった） 4. 履修または参加した（有用ではなかった） 5. 知っているが履修または参加したことはない 6. 知らない

A.学部横断型教育プログラム	☐	☐	☐	☐	☐	☐
B.(前期)FLYプログラム	☐	☐	☐	☐	☐	☐
C.国際研修	☐	☐	☐	☐	☐	☐
D.(前期)トライリンガル・プログラム	☐	☐	☐	☐	☐	☐
E.GLP-GEFIL	☐	☐	☐	☐	☐	☐
F.グローバル教育センター(旧グローバルキャンパス推進本部)短期プログラム	☐	☐	☐	☐	☐	☐
G.USTEP(全学交換留学)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
H.UTokyo Global Unit Courses (UTokyo GUC)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I.国際総合力認定制度(Go Global Gateway)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
J.スペシャル・イングリッシュ・レッスン	☐	☐	☐	☐	☐	☐
K.体験型教育プログラム	☐	☐	☐	☐	☐	☐
L.後期教養教育科目	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Ⅱ-4 在学時の学修機会・経験について伺います。

1. はい(非常に有用だった) 2. はい(有用だった) 3. はい(あまり有用ではなかった) 4. はい(有用ではなかった) 5. いいえ(経験していない) 6. 卒業論文/研究はなかった

A. 卒業論文/研究を行った	☐	☐	☐	☐	☐	☐
----------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

1. はい(非常に有用だった) 2. はい(有用だった) 3. はい(あまり有用ではなかった) 4. はい(有用ではなかった) 5. いいえ(経験していない) 6. 研究室やゼミでの少人数教育はなかった

B. 研究室やゼミでの少人数教育を経験した	☐	☐	☐	☐	☐	☐
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

1. はい(非常に有用だった) 2. はい(有用だった) 3. はい(あまり有用ではなかった) 4. はい(有用ではなかった) 5. いいえ(経験していない)

C. (学内で)自分とは異なる国の学生と交流した	☐	☐	☐	☐	☐
--------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

D. 東大で語学以外の英語による授業を受講した	☐	☐	☐	☐	☐
-------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

E. それ以外の国際交流活動を行った(外国人留学生等の支援等も含む)	☐	☐	☐	☐	☐
------------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

F. インターンシップ・プログラム(5日以上に限る)に参加した	☐	☐	☐	☐	☐
---------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

G. ボランティア・社会貢献活動に参加した	☐	☐	☐	☐	☐
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

H. 図書館やアクティブラーニングスペースなど大学施設を活用して学習した	☐	☐	☐	☐	☐
--------------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

Ⅱ-5 あなたの成績について伺います。「優」(A)は何割くらいありましたか。「優上」を含めた割合を記入してください(例:6割の場合は6を記入)。

Ⅲ. 在学時の学修について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

Ⅲ-1 あなたは、つぎのような点を身につけたと思いますか。

1. 身についた 2. まあ身についた 3. あまり身についていない 4. 身につけていない

A. 学科・課程の専門領域について、最先端の研究を含めた知識・考え方

☐ ☐ ☐ ☐

B. 専門の枠を超えた、所属する学部に通ずるような基本的な知識・考え方

☐ ☐ ☐ ☐

C. 専門領域を超えた、幅広い知識やものの見方

☐ ☐ ☐ ☐

D. 課題を発見し解決方法を考える能力

☐ ☐ ☐ ☐

E. 公共的な責任感や倫理観

☐ ☐ ☐ ☐

F. グローバルな思考や異なる文化・価値観の理解・尊重

☐ ☐ ☐ ☐

G. 今まで経験しなかったことに挑戦する意欲

☐ ☐ ☐ ☐

H. 将来の方向性

☐ ☐ ☐ ☐

I. 社会に出てすぐに役に立つような知識やスキル

☐ ☐ ☐ ☐

J. 論理的な文章をまとめる能力

☐ ☐ ☐ ☐

K.人間関係をうまく保ち協働する能力	○	○	○	○
L.外国語の論文や本を読む能力	○	○	○	○
M.外国語を使う能力	○	○	○	○
N.統計数理の知識・技能	○	○	○	○

Ⅲ-2 教員や教育制度との関係、受講した授業について伺います。

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

A.所属学科・コースの教員の指導は十分だった

○ ○ ○ ○

B.優れた教員に影響を受けた

○ ○ ○ ○

C.授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた

○ ○ ○ ○

D.理解しやすいように教え方が工夫されていた

○ ○ ○ ○

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない 5. TAのいる授業を受講していない

E.TA(ティーチング・アシスタント)が役に立った

○ ○ ○ ○ ○

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

F.小テストやレポートなどの課題が出された
※期末テストは除く

○ ○ ○ ○

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない 5. 提出物の返却はなかった

G.課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された

○ ○ ○ ○ ○

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
H.グループワークやディスカッションの機会があった	☐	☐	☐	☐
I.教員から意見を求められたり、質疑応答の機会があった	☐	☐	☐	☐

Ⅲ-3 あなたが今年度に大学で受けたオンライン授業の中で、次のような授業はおおよそどれくらいありましたか。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。				
	1. よくあった	2. ある程度あった	3. あまりなかった	4. ほとんどなかった
A.オンラインで教員が一方向的に講義をする授業	☐	☐	☐	☐
B.オンラインで教員と学生の間に対話がある授業	☐	☐	☐	☐
C.オンラインで学生同士のディスカッションがある授業	☐	☐	☐	☐
D.オンラインで録画をいつでも見られる授業	☐	☐	☐	☐
E.オンラインで講義がなく課題だけが出される授業	☐	☐	☐	☐
F.オンラインと対面を組み合わせた授業	☐	☐	☐	☐

Ⅲ-4 東京大学でのオンライン授業への取り組みに対して、あなたはどのように感じていますか。あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

- ☐ 1. とても満足
☐ 2. やや満足
☐ 3. どちらともいえない
☐ 4. やや不満
☐ 5. とても不満

Ⅲ-5 オンライン授業とこれまでの対面形式の授業のどちらがよかったですか。あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

1. オンライン授業 2. 対面形式の授業 3. どちらともいえない

A. 学習への取り組み やすさ	☐	☐	☐
B. 内容の分かりやす さ	☐	☐	☐
C. 授業への集中のしや すさ	☐	☐	☐
D. 教員への質問のしや すさ	☐	☐	☐
E. 他の受講生との対話 のしやすさ	☐	☐	☐

Ⅲ-6 コロナ禍の中でどのようなサポートを東京大学にしてほしかったですか。意見を自由にお書きください。

IV. 在学時の海外経験等について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

IV-1 在学時の海外経験等について、それぞれあてはまるもの一つにチェックをつけてください。

1. 経験あり : 1 カ月未満 2. 経験あり : 1-6 カ月未満 3. 経験あり : 6 カ月-1 年未満 4. 経験あり : 1 年以上 5. 経験なし

A.大学のプログラム／推薦により留学した

☐

☐

☐

☐

☐

B.個人留学した(語学学習)

☐

☐

☐

☐

☐

C.個人留学した(語学学習以外)

☐

☐

☐

☐

☐

D.海外でインターンシップ(5 日以上のもの)に参加した

☐

☐

☐

☐

☐

E.海外でボランティア・社会貢献活動に参加した

☐

☐

☐

☐

☐

F.大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベント(海外開催)に参加した

☐

☐

☐

☐

☐

G.海外での研究・調査等や国際会議等に参加した

☐

☐

☐

☐

☐

H.上記以外に海外に行った経験がある

☐

☐

☐

☐

☐

IV-2 あなたは、在学中に TOEFL iBT や TOEIC、IELTS 等の公式テストを受験したことがありますか。また、点数はどのくらいでしたか。

A.TOEFL iBT

- ☐ 1.受験経験なし
- ☐ 2.受験経験あり 0～41 点
- ☐ 3.受験経験あり 42～57 点
- ☐ 4.受験経験あり 58～71 点
- ☐ 5.受験経験あり 72～83 点
- ☐ 6.受験経験あり 84～94 点
- ☐ 7.受験経験あり 95～106 点
- ☐ 8.受験経験あり 107 点～

B.TOEIC Listening & Reading

- ☐ 1.受験経験なし
- ☐ 2.受験経験あり 0～224 点
- ☐ 3.受験経験あり 225～545 点
- ☐ 4.受験経験あり 550～665 点
- ☐ 5.受験経験あり 670～780 点
- ☐ 6.受験経験あり 785～865 点
- ☐ 7.受験経験あり 870～940 点
- ☐ 8.受験経験あり 945 点～

C.TOEIC Speaking & Writing

- ☐ 1.受験経験なし
- ☐ 2.受験経験あり 0～159 点
- ☐ 3.受験経験あり 160～239 点
- ☐ 4.受験経験あり 240～270 点
- ☐ 5.受験経験あり 275～305 点
- ☐ 6.受験経験あり 310～330 点
- ☐ 7.受験経験あり 335～355 点
- ☐ 8.受験経験あり 360 点～

D.IELTS

- ☐ 1.受験経験なし
- ☐ 2.受験経験あり 0～3.5 点
- ☐ 3.受験経験あり 4.0～5.0 点
- ☐ 4.受験経験あり 5.5～6.5 点
- ☐ 5.受験経験あり 7.0～8.0 点
- ☐ 6.受験経験あり 8.5 点～

E.その他の公式テスト(外国語)

「受験経験あり」の方は、「その他」に、名称と()点満点で()点くらいを入力してください。

- ☐ 1.受験経験なし
- ☐ その他:

V. 前期と後期の接続について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

V-1 進学選択や進学先について伺います。

進学選択について

(2014 年度以前入学者は「進学選択」を「進学振分け」と読み替えて回答してください。)

- | | | | |
|----------|------------|---------------|------------|
| 1. あてはまる | 2. まああてはまる | 3. あまりあてはまらない | 4. あてはまらない |
|----------|------------|---------------|------------|

A. 進学先を希望通りに決めることができた

☐	☐	☐	☐
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

B. 途中で興味が変わって進学希望を考え直した

☐	☐	☐	☐
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

C. 現在の進学選択制度は複雑すぎる

☐	☐	☐	☐
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

進学先について

- | | | | |
|----------|------------|---------------|------------|
| 1. あてはまる | 2. まああてはまる | 3. あまりあてはまらない | 4. あてはまらない |
|----------|------------|---------------|------------|

D. 進学先は進学前にイメージしていた通りだった

☐	☐	☐	☐
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

E. 進学先の選択について、点数より専門分野を重視した

☐	☐	☐	☐
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

F. 前期課程の科目選択の際に点数より希望の専門分野を重視した

☐	☐	☐	☐
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

VI. 大学生活を通じた満足度について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

VI-1 あなたの大学生活を通じた満足度について伺います。					
	1. 満足している	2. まあ満足している	3. あまり満足していない	4. 満足していない	
A.大学生活全般	☐	☐	☐	☐	
B.前期課程で学んだこと	☐	☐	☐	☐	
C.後期課程で学んだこと	☐	☐	☐	☐	
D.授業時間以外で教員に質問したり、勉強の仕方を相談する機会	☐	☐	☐	☐	
E.図書館などの学修施設	☐	☐	☐	☐	
	1. 満足している	2. まあ満足している	3. あまり満足していない	4. 満足していない	5. あてはまらない(未経験)
F.実験・実習などのための施設や設備	☐	☐	☐	☐	☐
G.就職支援・キャリア支援	☐	☐	☐	☐	☐
	1. 満足している	2. まあ満足している	3. あまり満足していない	4. 満足していない	
H.卒業後の進路	☐	☐	☐	☐	
	1. 満足している	2. まあ満足している	3. あまり満足していない	4. 満足していない	5. あてはまらない(未経験)
I. 学修・生活面でのカウンセリング	☐	☐	☐	☐	☐
J. サークル・クラブ活動	☐	☐	☐	☐	☐
K.国際経験	☐	☐	☐	☐	☐

VI-2 大学のカリキュラムについて伺います。

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
A.自由すぎて、なにをどう勉強すればよいかわからなかった	☐	☐	☐	☐
B.必修科目が多く、自分のやりたいことができなかった	☐	☐	☐	☐
C.後期課程の語学教育は今のままでは不十分だ	☐	☐	☐	☐

Ⅶ. 卒業後の進路について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

Ⅶ-1 卒業後の予定は、下の項目ではどれにあたりますか。

- ☐ 1. 【働く】民間企業に就職
- ☐ 2. 【働く】教育研究機関に就職(教職を含む)
- ☐ 3. 【働く】公務員として就職
- ☐ 4. 【働く】司法修習生、臨床研修医
- ☐ 5. 【働く】起業・自営業
- ☐ 6. 【働く】その他の就職
- ☐ 7. 【学ぶ】東大の大学院に入学
- ☐ 8. 【学ぶ】国内の他大学の大学院に入学
- ☐ 9. 【学ぶ】海外の大学院に入学
- ☐ 10. 【学ぶ】国内の大学に学士入学
- ☐ 11. 【学ぶ】海外の大学に入学
- ☐ 12. 【学ぶ】その他の進学
- ☐ 13. 【その他】その他の進路
- ☐ 14. 【未定】まだ決まっていない

VIII. 自由記述

VIII-1 東京大学の学修環境、カリキュラム、あなたの学修経験・大学生活等について、満足だった点、不満だった点を具体的にお書きください。



VIII-2 東京大学の教育や学修環境の向上のために何が必要だと思いますか。意見を自由にお書きください。

